京城日報

三十日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵税一ヶ月金十錢
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字 ▲三號活字 ▲四號活字 ▲六號活字
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 振替貯金口座京城三〇〇番

總督訓示

慈惠醫院長會同に於て

各道慈惠醫院長會同第一日席上に於ける長谷川總督の訓示左の如し

本總督就任後初めて各位を會同し救療事務に關し詳細なる狀況を聽取し且所思を開示することを得るは欣幸とする所なり

客年の治療成績を見るに普通患者に於て一般に增加し施療患者に於て著しく減少せり濫施は民をして却て苟安に流れ自治の念を弱むるの弊あるを以て之を愼むべきは言を俟たざる所各位が施療範圍の整理に關し苦心したること認むるに難からずと雖も救療事業は慈惠醫院の最も重要なる任務たるのみならず朝鮮の民度は施療を要する者尙多きを以て經費の存する限り汎く窮民の救療を圖らむことを努むべし

醫院の設備殊に院舍に在りては不完全なるもの極めて多く院務の處理上不便尠からざるを察し既定の計畫に基き其の改築を速にせむことを期すべしと雖財政其他の事情に依り全部の完成を見るに至るは尙數年を要すべきを以て各位は一層力を致し其の設備の不完全を補ふの覺悟なかるべからず

曩に各道を巡視するに當り慈惠醫院の實況を視察するに事業の成績頗る見るべきものあり地方民衆の信賴亦篤きを加へ略慈惠救療の本旨を達するに近きを認め得たるは本總督の深く滿足する所なり然りと雖物久しきに亙れば其の境に安じて改善の方途を忽諸にする傾向あり各位は每に意を此に致し部下を督勵して苟も倦怠の念を生ぜざらしめ以て任務を完うせむことを期すべし

支那の形勢

▲李總理任命

李經義氏の國務總理任命は二十八日夜發表せられたり（北京電報）

▲內閣總辭職せん

二十八日午後五時半總理代理伍廷芳氏は大總統に謁見し李經義氏同意案國會を通過せるを機とし內閣の總辭職を願ひ出でたり多分李氏の入京と共に許可あるべし（北京特電）

▲支那時局と林公使

北京駐箚林公使は二十八日約二時間半に亙り黎總統と會見す林公使は支那時局に對し絕對に傍觀主義を執るべしと聲明せり（北京電報）

▲李經義天津を去る

入京を避けて―眞疑は不明

李經義氏は天津に於ける段派の隱謀及び北洋軍人派の就任妨害運動を顧念し黎總統より迎接使を特派したるにも拘らず入京を躊躇しつゝありしが二十九日同氏は周學熙氏を從へ飄然として天津を去り北京に來るを避けたりとの報到り政界又々恐慌を惹起せり（北京特電）

○英軍用飛行機充實

英國は本年中に軍用飛行機三千五百臺の新造及び操縱者六千人を養成す可き手配を完成せり（倫敦電報）

○獨墺兩公の平和運動

獨逸のビユーロー公及び墺匈國のチエンブルク公は當地に到着し萬國舊教徒と共に平和運動を開始せり（倫敦電報）

○露國立憲議會準備

露國臨時政府は速に立憲議會を召集せん爲め種々の手段を講ずる事を命じ第一回會議開會期日を七月五日と定め精細なる選擧規則を制定する爲め委員を任命せり（露都電報）

○匈牙利首相新任

ブダペスト公報に依ればアンドラシー伯は匈牙利首相に任命されたり（ツーリヒ電報）

○獨逸國體を改造せん

在米獨逸人の計畫

在米獨逸人は獨逸皇帝を退位せしめ獨逸を米國の如く民主國たらしめんとの目的を以て團體を組織せり（紐育電報）

○伯國中立取消案可決

伯剌西爾下院に於て伯剌西爾の中立取消に關する政府案は三對百三十六票にて第一讀會を通過せり（リオ、デジヤネイロ電報）

○不信任案如何

憲政會は來る可き臨時議會に對し現內閣不信認案の提出を爲さゞる可しと傳へらる（東京電報）

○本野外相曰く

李經義氏の國務總理任命につき本野外相は語つて曰く予は支那の重要なる今日の政變を歡迎す支那は此際速かに鞏固にして且つ永久的なる內閣を組織し以て國運の振興を企圖せむ事を望むと（東京電報）

○日郵配當七割

日本郵船會社は二十九日三十二期本年度株主總會を開き當期利益金處分に依る三割、繰越金處分に依る四割合計七割の配當案を可決せり（東京特電）

○米鐵道顧問通過

米國鐵道顧問ジヨンスチーヴンス氏一行は二十九日午後五時東京より敦賀に著し露國に向へり一行の使命は露國鐵道を悉く米國式に改造するもの如し（大阪特電）

○柳田官長通過

貴族院書記官長柳田國男氏は南支那及び滿洲各地の視察を終へ二十九日午後四時安東縣著一泊の上三十日午前八時二十分發京城へ向へり（安東縣特電）

◎院鐵技師參事通過

鐵道院技師鈴木一、同參事五島慶太の兩氏は廿九日午後九時四十分入港對馬丸にて釜山上陸同夜十一時發列車にて滿洲に向へり（釜山特電）

◎總督午餐饗應

二十九日夜入京せる名古屋視察團員は三十日總督府訪問それより市內各所を見物せるが長谷川總督は一同の中央試驗所視察の際同所に於て正午立食の饗應を爲し總督府よりは小原農商工部長官臨席せり因に一行は三十日夜退京名古屋に直行す可し

◎勳章傳達式

曩に敍勳の御沙汰ありたる總督府參事官秋山雅之介氏外十氏に對し三十一日午前八時三十分總督府第一會議室に於て勳章傳達式を擧行の筈なり

◎慈惠院長會同（第一日）

道慈惠醫院長會同第一日は三十日午前九時より總督府第二會議室に開催各道慈惠醫院長は勿論總督府側よりは長谷川總督以下關係部局長、官課

◎師團幹部演習

第十九師團幹部演習は三十日より京畿道水原郡水原地方に於て立花師團長統裁下に開催、各團隊長並に聯隊附中佐參加せり同演習は八日を以て終了九日演習場解散の筈なるが秋山軍司令官は六日迄之を實視の豫定

◎土地調查判任減員

臨時土地調查局に於ける現在判任官定員一千二百九十九人を一千二百人に減員するの件は訓令二十一號を以て三十日發布三十一日より施行する事となりしが減員に伴ふ免官者は測地課所屬の判任官にして同日附發表すべしと

◎振替貯金改則

郵便振替貯金規則改正され六月一日より實施の事となれり、本規則の改正は內地に於ける改正に伴ひ之と同一步調に出でむとするものにして結局[illegible]の日より起算して三十日間なりしを六十日に改め且つ郵便爲替證書に對しては特別取扱の承認を受けたる銀行は郵便振替貯金拂出證書に對しても亦爲替證書の例に依り其の拂渡を請求することを得ることゝなれり

◎異動地整理の調查

府郡島に於ける土地臺帳地籍圖及び關係簿書の整理を完全にする爲め大正五年十二月末日迄に土地調查を完了し土地臺帳規則による事務の取扱を開始したる府郡島に付異動土地の測量地籍算定地位等級詮定其他地籍事務整理に關する調查をなすの必要あり當局に於て詮議中の事は既報せしが廿九日訓令を以て發布調查を實行する事となりたり右に付當局者は曰く地籍事務整理に關する調查は本年六月上旬より順次關係各道に調查班を出張せしめ執行する事となりしが該調查の趣旨は既整理地籍事務の成果を調查し而して其の不備と認むる點を補正し尙ほ又處理未濟の事務に就ては之れが整理を遂げしめんとするにあり要するに土地調查の結果を完成せんとするに外ならずと云々

◎輕鐵發起の趣旨

朝鮮產業開發上の急務

忠北輕鐵會社發起人 根津嘉一郎氏談

貴族院議員宇田義文、東武鐵道株式會社々長根津嘉一郎の兩氏は二十九日午前入港の關釜聯絡船にて來釜同十時三十分發北行列車にて京釜線芙江に向け出發したり釜山停車中往訪の記者に語りて曰く

▲來鮮の用向 今回宇田氏と共に來鮮したる用件は昨年六月來鮮總督府に許可を出願し置ける忠淸北道芙江を起點として淸州を經て忠州に至る五十三哩の輕便鐵道敷設に關する實地調查の爲めにて是より直ちに芙江に到り夫れより豫定線路の踏查を行ひ沿道を視察し終りて京城に赴き來月二三日頃には歸途に就く豫定なり

▲鐵道敷設の急務 予は嘗て明治四十四年に來鮮したる際時の朝鮮總督寺內閣下と會見して朝鮮開發の事に就き意見を述べて未開の地を開發するの捷徑は先づ道路の開通と鐵道の敷設に力を致すと云ふが最も緊要のことゝ思はるれば朝鮮に於ても宜しく四通八達の道路を開くに非ずんば如何に產業の開發を獎勵し保護せらるゝとも何等の效果をも收むることは到底能はざるべしと輕便鐵道の敷設を急務とすべき意見を述べしに寺內伯も予の意見を首肯せられ道路に於ては既に改築に著手し著々進捗を見つゝあり、鐵道の事業は須らく予に計畫を爲して如何と慫慂せられしに對し予は及ばず乍らも奮つて其任に當るべしと雖も鐵道事業は他の事業と異なり巨額の資本を要し而して創設當初は或る期間は利益を收むること能はざるが常にして既に我邦に在りても私設鐵道は最初に總て相當の補給を政府に仰ぎ斯くして漸やく今日の如く發展したるものなれば朝鮮に於ても同樣の趣意に於て總督府より或る期間即ち利益を得るに至る迄の間補給を與へらるれば朝鮮開發の爲め應分の努力は吝み申さずと答へたるに對し寺內總督は今日總督府の財政は未だ斯かる支出を許さゞるを甚だ遺憾とするも近く其時機の到來すべきに付き其際には奮つて任に當られむことを望む旨を語られしことあり

▲輕鐵出願 其後只管機運の進展に伴ふ時運の到來を待ちつゝ種々調查をなし先づ淸州を中心とせる芙江忠州間の輕鐵敷設を計畫し昨年に至り出願を爲したる次第なるに以來更らに何等の指令に接せず偶ま過日大屋鐵道局長官に會見したるを以て模樣を聞きしに同長官は予に對して君等が出願書は總督府に提出しあるを聞けるも未だ實地に就き充分の調查をなせしを聞かず斯くの如くんば君等の計畫は果して實行すべきものなるや否や疑問となり居れりと予は同長官の言を諒とし今日迄は只地圖に依り研究を爲し計畫を立てしに過ぎざれば此際親しく實地を視察し充分の踏查を試むるの必要ありと感じたるより今回渡鮮したる次第にて予等が同鐵道に付き總督府に補給を仰がんとするは當分の間年八朱を與へらるべく然れども該補給は濫りに給與を得んとするにあらずして營業開始の上相當の純利を得るに至らば之れを辭退するものにて朝鮮に於て資金を投じ交通機關を創設するに就きては是れ位のことは敢て無理ならぬことゝ思惟せり

▲計畫線路 而して本社の設計は芙江を起點として淸州に到る約五里の間を第一期線とし淸州より忠州に到る十七里間を第二期とし其他は見込立ちたる將來に於て延長を爲す計畫なり然るに淸州以東は朝鮮輕便鐵道會社と競願になり居れる由なるもコハ偶然のことにして予等は前陳の如く從前より計畫を爲し在りしものに過ぎず今回實地踏查を遂げたらんには一層設計上に明確なる意見を發表し得ることゝあらんと豫期せり云々（釜山）

◎柳田翰長著期

貴族院書記官長柳田國男氏は支那視察を終り三十日朝入京の筈なりしも都合により安東に一泊する事となり從つて其の南大門驛著は三十日午後七時三十分なり

◎藤川平北長官歸任 入京中なりし藤川平北長官は二十九日夜南大門驛發列車にて歸任せり

◎右近氏出發 入京中なりし右近權左衛門氏は卅日午前九時三十分南大門驛發列車にて北鮮視察の途に就く

◎柳川丸の傭船

朝郵の應急策

朝鮮郵船會社にては金剛丸の沈沒に續き今回黃海丸の坐礁あり唯さへ船腹不足の折柄愈々船繰に困難を訴ふるを以て急ぎ內地に於て傭船の交渉を行なひつゝありしが今回下關山口氏所有船柳川丸（六百噸）をチヤーターする事に決定來月六七日頃迄に廻航し來り目下黃海丸の代船として命令航路に就航しつゝある江原丸に更り航行すべく而して江原丸は定期檢查を受くるため長崎に向ふべし尙ほ座礁船黃海丸の救助は海事工業會社の第三魁丸現場到著後全力を擧げて作業しつゝあるも尙ほ確たる見込み立たざる模樣なり唯其の損傷が天氣等により現在以上に甚大を加へざれば多分引卸し成功すべしとの事なり

◎輕鐵本社移轉期

朝鮮輕便鐵道會社の大邱本社并に附屬建物及び社宅工事は大に進捗し六月早々完成すべきに付釜山に於ける同社は同月七日より備品輸送に著手し同十五日迄に全部移轉を了する筈（釜山）

◎水間大佐歡迎會

慶尙南道警務部長水間春明氏が管內巡視の爲め釜山に來著せるを機とし官民有志者は三十日午後七時より南濱町芳千閣に於て歡迎會を開催する筈（釜山）

◎釜山驛助役更迭 釜山驛助役山本勇氏は今回仁川驛助役に轉任し廿八日午後十一時列車にて赴任したるが後任は朝鮮鐵道局東京案內所詰なりし富永靜生氏と決定し同氏は來月初旬來任の筈なりと（釜山）

【仁川】

▲施療患者收容狀態 仁川府施療所は昨年九月保健組合より繼承して以來一箇月平均延人員八百名の施療をなし本年三月以降は千二百名に達したるも保健組合時代に比すれば手續其他煩鎖を感ずるにや施療患者激減じたる者の如く府當局は大いに之れを遺憾としつゝ有るが同施療所の目的として醫療の資乏しき貧困者に對しては啻に朝鮮人のみならず內地人と雖も收容するに就き今後施療を受けんとする者は府廳及び警察署に出頭の上施療券を受取り施療を受く可しと

▲基督敎講演會 仁川組合基督敎會にては三十一日午後八時より仁川小學校裁縫敎室に於て講演會を開催すべく海老名牧師の歐洲戰亂と基督敎米澤尙三氏の現代思想と基督敎と題し講演ある由

【春川】

▲物產陳列場近況 江原道物產陳列場に於ては道物產の外に昨年十一月より李王職美術館製作品の委託販賣を引受け顧客の便利を圖りつゝあるが內鮮人向き共に賣行良好にして殊に記念品に類する如き物は郡部よりの注文多く之等に對しては特に注意を拂ひ公衆の滿足に沿ふべく取扱ひつゝあり而して同陳列場大正五年度入場人員及び放賣價額を計上すれば男女七千八百十九人に對し二千五百圓の多額に達し之れを大正四年度に對照する時は入場人員八百人放賣價格六百圓の增長を示せり而して之等放賣品の大部分は機業傳習所製產品にして稍や顧客の希望を滿す能はざる感なきにあらざるを以て將來益々賣品の充實を圖り一般公衆の需用に應ずべしと

▲春川と自動車 京春自動車の景氣は春川の發展に添ふ一つの現象にして若し其れ衰頽せば春川の不景氣と聞ふを得べくも幸ひ運轉開始以來日を逐ふて盛況を呈しつゝあるは春川開發の爲め祝すべき事とす今松田京春間自動車本年一月以降の春川乘降客人員を計上するに平均一箇月乘客百三十八人降客百五十人とす而して昨秋廣橋組自動車轉覆以來運轉に最も注意しつゝあるを以て幸ひ其の後何等故障なし

◎安東縣雜信

▲海軍記念日 安東在郷軍人會主催の海軍記念日祝賀式は二十七日午後一時より安東小學校講堂に於て擧行されたるが式後陸軍兵器部より出張せる千代田艦砲術長河村海軍大尉の約二時間に亙る海戰談ありて終つて校庭に於て擊劍、柔道、銃劍術等各數十番の競技を行ひ午後七時より公會堂に於て大祝賀會催されたるが非常の盛會なりし▲柳田上院翰長 貴族院書記官長柳田國男氏は南支及び滿洲各地の視察を終へて廿九日午後四時著列車にて著安元寶館に投宿せり▲永田理事長 永田採公理事長は三十日午後六時半より當地の重立ちたる官民をスミレに招待し晩餐會を開く▲田中山林課長 朝鮮總督府山林課長田中卯三氏は二十九日朝來新義州營林廠技師の案內にて渡安鴨綠江採木公司及び採木公司等を訪問し夕刻新義州に引返せり

人事消息

▲福岡縣立築紫中學校職員生徒百七名 二十九日午後仁川より入京

▲ウヰルソン博士 二十九日午後天安へ

▲松永武吉氏（京畿道長官） 二十九日午後水原より歸任

▲龍岡與官（京畿道） 二十九日午後金村へ

▲各道諮問會議一行八十九名 三十日午前水原へ

▲鈴木能道院技師 三十日午前京より入京朝鮮ホテルへ

▲平田口元學氏（朝鮮郵船社長） 三十日午前京城南部へ

▲藤井寬太郎氏（不二興業專務） 二十九日夜北行平安北道の水利工事現場へ六月三日頃歸京の筈

▲永井技師（土木局仁川出張所長） 三十日附依願免本官南浦に出張を命ぜらる

○日本の露國出兵說

米國にて喧傳さる

米國に於て日本の露國出兵說盛んに喧傳せられつゝあり（紐育電報）

○倪安徽督軍免職

黎總統は安徽督軍倪嗣沖氏を免職し張勳氏に其職を兼任せしむるに決し三十日命令を以て公布す可し（北京特電）

○倪督軍獨立す

二十九日倪嗣沖氏は獨立して張勳の兵と衝突せり（北京特電）

故友枝榮三郎君追悼の爲來る六月二日午後二時より龍山瑞龍寺に於て法會相營み候間御參會被成下度此段同君生前御懇意の諸君に謹告仕候
追而會費は五十錢と相定め候間當日御持參の程奉願上候
大正六年六月一日
發起人 阿部充家 大垣丈夫 牧山耕藏 小幡虎太郎 萩谷籌夫

各選手の練習振り＝訓練院にて

世界に比類無き野鳥水禽

朝鮮特有の鳥禽二千餘點の剝製

京城高等普通學校の記念事業

京城高等普通學校では御大典記念館を同校附屬普通學校構内に設立してあるが記念館樓上には紫宸殿に於ける

♣御大禮當日の模型 を始め御大禮に關する諸般の資料 掛物、御物を始め御大典に關する内外の新聞雜誌圖書及び同校生徒の記念作文書畫等一切を蒐集し當時の御盛儀を幾久しく欽仰追念する事を得せしめ樓上別室及階下の各室は記念事業として動物博物其他工藝品の標本蒐集に努めて居るが其の内鳥類の剝製標本は森、高橋兩氏專ら其の任に當り其の數既に二千餘點に及び其の標本中には

♣朝鮮內地は元より 世界に比類なき珍重すべき禽類の標本をさへ所藏して居る、朝鮮には元來鳥獸の種類甚だ多く且つ從來餘り學術的に研究せられて居らなかつた故に之を蒐集し研究して見ると內地に於ては既に跡を絕ち今日に於ては見る事を得ざるもの又は朝鮮特有のものにて新たに發見されたるもの或は學者のみ存して今日其の實物が世界の何處にも存在せなくなつた鳥などが盛んに發見される

♣同校所藏既製標本 の中に就て一例を擧ぐれば尾黒鶴の如きも今日迄此の種の鶴は西藏にのみ產するものとして其の實物は支那は元より內地の動物園、博物館、大學等にても一つも有つて居らなかつたが其の尾黒鶴が個々朝鮮に生棲して居る事が發見された其他鴇朝鮮黃鳥、三光、佛法僧、眉白花鳥、マキノセンニユウ、冠翡雀、紫翡翠、赤翡翠、姬鵐、鶚等の美觀鳥も

♣朝鮮以外の地に於て は容易に見る事の能きないものが甚だ多い高等普通學校に於て玆に著眼し朝鮮の禽獸類を廣く蒐集し研究して居る事は其の勞を多と爲なければ成らぬ然し學校としては之れを飼養する事は不可能であるから剝製にして標本棚に陳列するより外に手段はないが李王家動植物園等にて能ふべくんば朝鮮の有ゆる禽獸を蒐めて公衆の觀覽を許されるならば單に

♣朝鮮在住の內鮮人 の智識の啓發さるるばかりでなく內外の來遊者をして朝鮮を知る上に就て一方ならぬ便宜となる譯である外來の觀光客で京城に來る者は必ず李王家の博物館及び動植物園の觀覽を爲るが博物館にては遺憾なく朝鮮の文藝美術を一堂の下に集めて觀覽する事が能き頗る結構なれど

♣植物園と動物園に 於ては多く南洋熱帶地方の動植物其の主となり朝鮮ならでは見る事の能きぬと云ふ特色を持つて居らないのが甚だ殘念であると語つた者があつた王家の御苑は勿論王の御慰みにて公衆本位のものではなく又現在の如き動植物園は是非永久に保存して一般の觀覽を許して貰はなければならぬが更に一歩を進めて一般遊覽者及び研究者の爲めに

♣朝鮮特有の動植物 を蒐集し栽培して觀覽を許さるゝならば幸ひ此の上もない次第である、東拓は大分橫路に這入つたが朝鮮の美觀鳥は各國から集めて來たそれに比して決して劣るものでないとの事である

全鮮自轉車競走大會の前景氣

熱中せる選手連の盛な練習振

贔負々々に選手應援團の密議

本社及び每日申報社が主催となりて六月三日の日曜日を卜し城東訓鍊院に於て全鮮自轉車大競走會の發表をなすや聊か寂寞を感じ居たりし輪界は斷然として活氣溢れ大な的歡迎を受くるに至り斯界の猛將勇卒は陸續競走參加を申込み來り各選手の意氣は軒昂たりされば我社に於ても直に訓鍊院に新にトラツクを作りたるがトラツクの未だ出來上らざる際より各選手は既にペタルを踏んで練習に餘念なく其の漸く出來上りと共に朝夕數十名の

戰士は練習に熱中しつゝあり トラツクは三周一哩なるが當日の競技は成るべく完全に成るべく面白く演せんが爲其のプログラムに付ては特に注意し輪界の經驗者等を顧問とし目下作成中なれば定めて痛快なる競技を見るべし競走場は黃金町電車基點よりする人は光熙門行きの電車に乘せば僅に一區にて至るべければ老幼男女を問はず何人にても來觀し頗る便利にして自由なり尙ほ當日は同好者相集り贔負々々に其れ〜〜選手の應援團を組織し盛に之れが應援をなす計畫を密々協議しつゝあれば破天荒の大快舉を現出すべし

火藥爆發

松本全市震慴

二十九日午後長野縣松本市大森安太郎方邸內に隱匿せる火藥が突然大音響と共に爆發し全市震動せり一名は爆發と共に全身微塵に粉碎され一名は喪神せり（大阪特電）

工場破壞

福岡縣の椿事

二十九日午後六時福岡縣筑紫郡穀粕村九州電化工業會社內鹽酸假製造工場より火を發し鹽酸加里に燃ね移り大砲の如き爆音と共に工場破壞され木材の破片四散し全燒四棟半燒二棟にて午後七時鎭火せり（大阪特電）

滿洲から蒙古の奧地まで……◇海老名彈正氏談

◇雜誌「新人」に、日々の說教に、常に傳道の途に努めつゝある海老名彈正先生は、二十五日入京以來も席暖まらざる忙がしさ、三十日までは每日〜〜鮮人側教會に說教を試み、いよ〜〜六月一日から內地人側の說教がはじまる。◇京城ホテルの溫突の離座敷風流な玄關に靴紐をむすびながらの談しに曰く『鮮人側の說教は洵に立派な通譯があつて幸せました。京城出發は六月九日頃それから奉天に參り、月の中頃は北京に參りますが……』と◇猶ほ先生の組合教會にては這回奉天に根據を置いて親しく在滿の支那人間に傳導し、更に深く蒙古方面をも開拓する計畫『それには語學の必要がありますので近く京都から一人奉天に行きます……。』とのはなしであつた。◇先生の豐かな頰と頰髯とは打ち見たところ白くなりまさつて行くが傳道と社會改善の努力に燃ゆるその眼光は相變らず優しくなつかしいものであつた（三十日午前記）

賊は混血少年

父は支那人＝浪花節語り

去る二十五日の午後三時頃釜山西町三丁目高木佐一郎方家人の不在中十五六歲の內地少年が簞笥を抽出し居るより早速附近の西町交番所へ其旨通知し詰合の巡査が驅付けしに件の少年は表口より逃走せんとするを取押へ引致し取調べの結果此少年は大阪市西區松島町二丁目十四番地生れ西村孝吉(一六)と云ひ廿四日朝入港の連絡船より上陸したる者にて同人は香港生れの支那人馬幸と母きく(四十)との間に生れ兄弟六人あり兄は兵役中にて姉は藝者を爲し孝吉及び兄弟三人母親の手元に在りしに父の馬幸は數年前浪花節語となり滿洲軒雷翼と名乘り滿洲地方を巡行中にて每月三四十圓の仕送りあり孝吉も追々成人し浪花節も一通り語り得るより父の前座にとも母親より旅費八圓を貰ひ滿洲に赴かんと釜山迄來りしに最早旅費が盡き詮方なきより窃盜をも爲さんと忍び入りたる旨申立つるも年に似合ぬ巢觀の大膽なるより餘罪ある見込にて引續き取調中（釜山）

錠前破り の大賊逮捕さる

京城釜山の內地人を襲ひて金品一千餘圓を竊取す

京城にては五月中內地人居住各町に亘り被害金品額少からざる盜難頻發し常に錠前を破壞しあるより犯人は同一人ならんと目星をつけたる本町署にては豫て贓品の探索に內偵したる結果

▲其の一部發見 されたるを唯一の手掛りに犯人嚴探中古市町十四番地の廣屋を借受けて居住中なる新潟縣中頸城郡津有村生れのパン職工坂田義一(三二)の所爲なるを突止め佐々村、棚橋の兩刑事は此程同人を取調べの結果旅順及び青島に於て窃盜罪に依り前後二回服役後各地を徘徊したる後四月中旬京城に流れ込みて先づ家を借受け合鍵針金等を以て錠前を破壞して侵入し本町三丁目星野某方外七箇所より衣類雜品等合計價格約一千圓の物を窃取して

大阪坂田義一

▲贓品の一部は 自宅に藏匿し一部は入質したるものにして兩刑事が義一の家に臨檢したるに蒲團其他の贓品荷車二臺計りを發見押收して引揚げ餘罪ある見込みにて引續き取調べの結果釜山にても同樣手段を以て十個所の內地人住家より衣類雜品等合計約六百圓許りを窃取したる旨自白せり而して京釜兩地共贓物は大抵發見の上夫れ〜〜

▲被害者に還附 せり因みに京釜兩地に於ける被害者氏名等は左の如し

▲京城の部 衣類二點本町三丁目星野▲衣類九點外雜品大和町一丁目別府▲衣類二十點本町五丁目新田谷▲衣類十二點外雜品黃金町四丁目稻見▲衣類十四點外雜品本町一丁目宮崎▲衣類二點外雜品本町三丁目林田▲衣類十點外雜品櫻井町古賀▲滿劍外雜品岡崎町井上▲衣類十二點古市町上田▲釜山の部▲西町二丁目梶川大庭▲富平町二丁目久野倉田▲本町五丁目江崎▲大廳町二丁目高石▲富平町一丁目目戸▲寶水町守永▲富平町一丁目藤田

內地人を襲ひし強盜捕はる

全南光州郡光州面陽南里生れ住所不定金昌水(三一)は大正五年十二月大邱覆審法院に於て家宅侵入及び窃盜並に文書僞造行使罪に依り懲役五箇月に處せられ本年四月廿八日滿期放免せられたる者なるが同人は出獄後大邱三笠町監獄辨當差入業河永淑方に滯在中即ち四月廿七日午前五時頃錦町一丁目旅人宿田中奈良吉方の板塀を乘越ゑて侵入し鉋を以て家人を脅迫し金七圓三十錢を強奪し尙五月四日午前三時頃本町一丁目雜貨商藤田吉次方に忍入り金十三圓を窃取し其他鳳山町精米業森清吉方に侵入し現金百五十圓餘を強奪逃亡し鎭南浦警察署の手に檢擧されたり

大豺を撲殺す

咸南咸興郡上岐川面五味里尹剛龍(一八)は五月二十三日午前九時頃下朝陽面仁興里通行中山麓にて一頭の豺を發見せしが件の豺は片足を負傷せしものか跛しながら逃走するより追跡し石を以て撲殺したるが體量十一貫ありたりと

商況

東京株式

受渡枚十三萬八千六百七十株金額二千三百五十五萬三千七百八十四圓一株平均百三十一圓八十二錢八厘

債券現物特電

三十日出來値 東京 東洋拓殖 京城電氣 朝鮮銀行 朝鮮殖産 南滿鐵道 六九、〇〇〇 五六、〇〇〇 一三三、〇〇〇 一一八、三〇〇 一四七、五〇〇

公債直取引（東京特電）

三十日出來値 特別 五分利 四分利 一回四分 二回四分 甲五分 八二、六〇〇 八一、四〇〇

深川在米特電

三十日現在高 朝鮮米 臺灣米 內地米

東京期米特電

三十日前場 寄付 高値 安値 止め 一四九、六六一 一四九、五八一 一〇五、二三五 一七〇、五三五

大阪株式

二十九日後場 前場 七月限 一九九、七七八 一九九、四〇八 一九九、四〇四

銘柄 拂込 宇治川水 京阪電鐵 東洋紡績 合同紡績 鐘淵紡績 同上新株 東洋精糖 大阪商船 日本郵船 同上新株 堂島米穀 東京新株 大阪株式

大阪三品特電

綿ノ十七圓六十錢平十六手二百四十 綿双女十手百九十圓三銘先物七圓六十 十七錢五厘 廿九日前場 寄付 止め 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 二三九、八五 二三一、九〇 二三六、五〇 二四〇、三〇 二二九、五〇

大阪期米特電

下關期米特電

三十日前場 當限 中限 先限 寄付 高値 止め 一九、二七 一九、六四 二〇、二四 七九 四二

雜報

寄付 高値 安値 止め 常限 中限 先限

三十日前場 小豆後場 受渡七千五百石十七圓七十錢 總出來高 反落 日先戻り 賣新市 五十錢 上昇

大豆先物安

昨二十九日大連大豆市場現物は前日より三錢安の四圓七十二錢に先物六月限は四圓六十一錢七月限は四圓五十三錢と各前日より十五六錢方暴落

粟は產地高 十錢方騰

二十九日入電によれば四平街粟は前日より八月は同五十四錢八月は同五十八錢と各九錢三厘下落せる由入電あり

原鹽と官鹽

蕃川明過ぎて鹽の取引は漸く始まり各地とも專ら貯藏に努めつゝあるが蕃以來の好天氣續きにて內外製の成績は頗る良好なる由にてまづ官製大日本鹽は頗る良好なる由

產額增加

四月の鹽の廣梁灣にて今日迄の產出は旣に昨年中の總額を超過し山東及び關東州方面又良好なる由之等は食鹽產地値は變らされ

運賃高

四月頃まで青島釜山間此の三く現に

讀者文藝（一等に五十錢賞券を呈す）

▲川柳『計』

○むな計算飮みこみすぎて腹がせき（二等）仁川港町慶田組內 菊川月佳

▲遲くした罪を時計になすりつけ 京城 初非

▲計つたと思ふ向ふが狐なり 大邱 初心

▲計算の外らぬ人が賭け出し 金泉 言葉靑泉

▲計算書見て大酒家の禁酒論 京城 非茶郎

夏物朝鮮雜貨

製品高によりメリヤス、タオル、靴下等の雜貨類何れも割高なれど市中の荷捌け安時の仕入れには大差なきもの〻如く而して今後の仕入れは如何あらむと手控は勝ちなるが其他夏向きの小物市況左の如し

△袋物類 紙入れ等皮革製品は總て無にて紙製品之に代り用ゐらるレザー製打八九十錢より上物三圓位の處捌口よく最近金口類も賣行きのため倖々小高し

△扇子 內地仕入れの分は中物先づ物中地圓入りの品は依然賣行之等價は十本二十七錢より三十二錢位の處にて上物六十錢位まであり年々鮮內產の上等物を壓倒せむ有り

△化粧品類 へチマ、ガーゼ、フ、カキは殆んど新規品にて賣行年々增加するもの

△紐類 香油打六十錢の處捌けよし

皮革は軟調

京城正米

植物油次第高

豆油

白絞油

案外の不作

新菜種は支那

有力の會社と 雖

容易に注文に應ぜ

賃需と思惑筋の買

粉類益々昂騰

五錢 二圓五十

滿洲製粉

約十錢方の騰貴

水量不足と作物

料高と再製鹽

萬噸輸出高は約一

正米高と諸雜貨

購買力減少の傾

雜穀の需用愈々旺盛

鮮人向諸雜貨は何れ幾分の兆

植付良否如何

地場賣物は相當多

南大門の廻穀

幾分賣萌

約二千丁落

釜山穀物（廿九日）

生魚市場

○釜山水產市場（廿九日）

靑物だより

小賣白米

現株賣買中値

仁川期米

▲三十日前場

七錢安の入電

一節二十錢

先二十圓〇一錢

臨時暴落入電

更に十九圓八十

二錢と大暴落の移

八節九十二錢

▲當限納會

受渡高

小戾

二萬二三千石

乃至三萬石に上

値段及受渡し

遲延

▲大阪更に低落

八十三丁高値より百

轉大暴落

▲解合進行中

著々進行

同時に新甫發會

當月限の受渡し終

●課題募集規定 同形の洋紙一枚每に武上の雅號又は姓名を記入し…

●船上陸客 五月廿九日 午後三十分釜山入港高麗丸一二…

●天氣 曇り少雨

…二十七日の午前七時客を見送るとて出行き其儘行衛を晦したるより雇主は大に驚き八方捜索中なるも行衛不明。門司市馬場町貸座敷一樂亭方抱…ものと照し合せ去る二十三日兩人にて驅落ちし釜山に渡航したる形跡ありとて同地警察署より取押へ方を依頼し越せり（釜山）

[illegible]名　川村恒夫、同忠雄、荻原圓、[illegible]一郎、木村實、塚田雛四 [illegible]
竹越、小原[illegible]、幸子、吉見ふじ、同よし子、同節子　三等二百四十五名
五月二十九日午後九時四十分釜山入

光榮ある御前仕合

◇吹上御苑に劍客を召し給ふ◇

―各演武者に對し勝負に拘らず酒肴料と御菓子を賜はる―

豫て仰せ出されし如く　聖上陛下には去る廿七日午後二時より宮城内吹上御苑にて日本全國より馳せ集まりたる武術者の演武を天覽遊ばされたり此の日青葉若葉に初夏の日麗はしき吹上御苑馬見所には純白の天幕を引き廻らし

◇兩陛下玉座　は東面して設けられたるが一時頃より拜觀者及び各々鍛への竹刀を攜ひたる演武者は續々として參著し定めの席に控へたるが　聖上陛下には午後二時と云ふに陸軍の軍裝嚴めしき御姿にて、水淺黄の御洋裝に白のヴエールを懸ひ給へる皇后宮と御同列にて内山侍從武官長鷹司侍從長大森大夫以下の供奉員を隨へて臨御あり直に演武を開始されたるが最初に『遊心流及引』『柳生流燕飛』『帝國劍道形』『眞心影流』等の型の實演あり次いで

◇總數三十組　の試合に入りたるが演武の面々皆溌剌たる壯漢に非ずんば長身銀髯、矍鑠たる老劍客なり而かも孰れも今日を一世一代晴れの試合と心得たれば一上一下の太刀先鋭く壯快なる勝負を演出したれば　陛下にはいと興深く御し四時過ぐる頃番組悉く終りて後還御遊されたり、此日番組中西園寺八郎氏對宮内事務官高橋其三氏は

◇激戰數十合　の後引分となり侍醫土屋博士對石川主獵官の勝負は石川氏の勝に歸し群馬縣代議士本間三郎氏は見事の勝利を得たるが高木義征氏對木村數秀氏、渡邊邦治氏對小關教政氏、兵庫縣の高橋赳太郎氏對警視廳の中山師範、武德會の鷲將門奈正氏對山口縣の二宮久氏、東京高等師範の高野佐三郎氏對皇宮警部の永井利胤氏等の勝負は

◇孰れも一流　の第一人者の事とて孰れも引分けに終りたり尙ほ此の日　陛下には各演武者に對し勝敗に拘はらず酒肴料金一封と御菓子を賜はりたる事とて孰れも身に餘る光榮に感激し居たり此日御前にて帝國劍道の型を演じたる高野佐三郎氏は曰く『帝國劍道とは我國に今迄在つた

◇諸流の型を　統一して作つたもので、明治四十四年文部省と武德會が相談して制定したもので今度初めて天覽に供したもので光榮の至りです之も武德殿の思召の爲だと思へば實に感激の至りであります御前では無念無想勝敗利鈍は眼中に置きませんでした、之が即ち

◇武道の眞髓　だと思つて居ます』警視廳及び帝國大學の師範なる中山博道氏は曰く『先帝陛下が明治二十五年に武術を天覽遊ばされた事がありました、今上陛下は今度が初めであります、武術の道を尊んで下さる思召だと思ふ感激の外はありません、不敬に渡らぬやうに武術の眞の道を演じました』云々西園寺八郎氏は曰く『たゞ一心不亂に

◇全身を竹刀　に込めて試合をしたから會場の樣子なども少しも目に入らなかつた、一生懸命にやつたが先方も仲々強いので引分けになつた』七十六の高齢者たる眞具忠篤氏は曰く『私は田宮坊太郎の流れを汲んで居るものであるが、此高齢で御前試合に出る事の出來たのは之も聖代の餘澤で家門の譽とたゞ感泣して居ります』（東京）

◉青年會と庭球

仁川に於ける斯界の發達を計る

仁川基督青年會庭球大會は二十七日山根町テニスコートに於て催されたり參會者は二十餘名仲々の盛況を呈したるが勝負左の如し

廿七日庭球競技會勝負

（紅組）　（白組）
▲西川、飯尾――○稻村、三北
○高田、秋元――▲稻村、三北
▲菅、安藤
▲宮本、大塚
▲福田、河内――○渡邊、林
○師富、楫原――▲片桐、有富
▲田中、神長
○泉、大前――▲堀川、木郷
▲渡邊、林

◉哺乳期に捕獲

富川郡のヌクテ漸く跋扈し始む

仁川警察署管内富川郡樓南面及び其附近の山中にはヌクテの蕃殖甚しく最近一箇月間に仔ヌクテのみにても十數頭を捕獲したるが尙ほ多數棲息し居る模樣にて數日前の如きは九芝里別府市太郎方にて仔豚四頭を咬殺されたる外鮮人某が草刈中親ヌクテを發見し倉皇逃げ歸りたる等の事ありたるより同地方住民は大いに警戒し居る由今後日を經るに從つて仔ヌクテ成長せば被害增加するを以て哺乳時期に於て捕獲せば地方民の爲めに宜かる可しと語れる者あり（仁川）

◉仁川神社と八阪樓

六百餘圓の年收で電燈噴水料を負擔する

仁川神社は氏子總代の經營に移りし以來總代及び社掌の熱心なる努力に依りて苑内の手入れ整ひ殊に常綠樹及び櫻樹多數を栽植せられし結果苑内の風致面目一新したる事は屢々報じたる所なるが今大正五年度の神社收支を聞くに收入總額二千八百二十七圓七十五錢中氏子負擔金は二千二百三十六圓四十錢にして豫算に比し三百十二圓四十九錢を增加したるは非常の好成績にして氏子二千七百餘人中に負擔金の趣旨十分了解せられざる爲め徵收上多少の手數を要したるも二三者を除くの外は何れも喜んで負擔に任じたるは美風と言ふを得べき乎同社は昨年末神社敷地を府より讓渡を受けたる結果現在八阪樓敷地の其の所有となしたる爲め之れが年收六百餘圓を有するを以て電燈噴水料等を控除するも尙年々幾分の基本金を積立つる事を得現に千三十三圓の基金を有せりと云ふ（仁川）

◉燐寸職工を大阪で養成する

一氣呵成に建設―朝鮮人廿名を大阪へ―日本見たいの好奇心―一人々々吟味中―

仁川有力者の發起に係る、朝鮮燐寸株式會社の株式募集は非常の好況で豫定通りの應募申込みがあつた許りで無く尙續々申込みがあるが同會社創立事務所では締切と共に發起人會を開催の上、設立事務に關する協議をし愈々具體的に

■諸般の方針が　定つたならば一氣呵成に第一回の拂込みをなし建築其他に著手するとの事であるが夫れと同時に操業上最も肝要な職工を養成せねばならぬと言ふので近々朝鮮人にして日本語の巧みな者約二十名を募集して大阪の大株主たる齋藤氏經營の太盛社に送り燐寸製造に關する

■智識及び技術　を習得せしむる事になつてゐる、一度此の職工募集の事が發表されると日々四五名の志願者が出願するが渠等は總て大阪に行つて見物したい、日本の風物に接したい、そして日本語を勉強して見たいと言ふ一種の好奇心に驅られて居る靑年であるから大阪に送つてから果して

■勞働生活に堪へ得るか、又契約通り辛抱して朝鮮に歸つて來てから會社の爲めに働くかと言ふ事は頗る研究を要する事であるから、目下創立事務所員は數十に餘る志願者を一々吟味中である、會社が愈々工事に著手される場合は大阪から

■齋藤氏が熟練な建築技師や職工を引率し來るとの事だ（仁川）

◉箕城救濟近狀

平壤府内の浮浪者五十餘名の者に對し相當職業を與へ自活の道を能ふべしと齋藤平壤署長本田府尹其他有志の盡力にて箕城救濟組合を組織し該事業費として鮮人側有力者より一口五十圓宛三十一口金額千五百五十圓の出資を得たるが其後該事業に贊同の意を表し寄附金の申込をなしたるもの十餘名に上り金額亦數百圓に達したれば當事者に於ては近々總會を開き事業に著手すべしと（平壤）

◉在鄉軍人懇親會

平壤在鄉軍人分會に於ては二十七日午後七時より黃金町演舞場に於て新舊評議員の留別會を兼ね懇親會を催したり（平壤）

◉鐵道對東築野球仕合

鐵道局選手對東築中學選手野球仕合は二十九日午後四時半より龍山鐵道公園に於て開かれたり前日の仕合に零敗したる戰友豐國中學軍の雪辱をなさんと善戰奮鬪したるも五回戰十八對一にて東築軍の敗戰となりたり

◉海老名牧師來仁

今回朝鮮布敎の爲め入京したる東京本鄕敎會海老名牧師並に神戸敎會米澤牧師は三十一日來仁々川組合基督敎會主催に係る基督敎講演會に於て講演ある由なるが當日は敎育俱樂部仁川俱樂部に於ても歡迎席上に於て一場の講演を求むる由（仁川）

◉清涼飲料は何して作るか

品質の善惡を警戒せよ

◆清涼飲料を人が呑む如になつたのは元は鑛泉で炭酸の含まれた水を飲んだのが始まりであらうが自然に湧出する鑛泉では鹹味が強かつたり苦味が強かつたりして面白くない所から之を呑みよくする爲にレモンと砂糖を加へるやうになつたのである

◆レモンの汁は昔から人の好んで啜つたものであるが夫れでは費用もかゝり貯藏も困難な所からレモンに代るもので之を殺す機械なども古くからあつたものであるがエッセンスを代用するやうになつたレモン、エッセンスは一般に植物若しくは果實から取るものであるが之は費用の點から見ても貯藏の點から見ても大層便利なものである

◆尙最近になつて人工レモン、エッセンスと云ふものが出來る之は全く人工的に種々の芳香性物質を配合したもので枸櫞エッセンス等は其の代表的のものと云つてもよからう

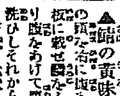
◆ラムネは比較的に古くからあるものであるが此の言葉もレモン又はリモナーデなど云ふ言葉から轉訛したものらしい之は人工沸騰リモナーデの一種で砂糖、植物酸（枸櫞酸又は酒石酸）及び芳香質を溶有する水に炭酸瓦斯を飽和せしめたものである

◆サイダーはラムネに次いで明治卅三年頃英國から輸入したものであるシヤンペンサイダーの如きは林檎汁から製したるシヤンパン酒の模造品で炭酸瓦斯で飽和せる水に砂糖、植物酸、人工果實エッセンスを混和し夫れを種々に著色したものである

◆其の後清涼飲料は非常な發達をして色々の名のものが全國で出來る如になつたが日本人の嗜好から考へて見ると外國人とは違つて味も香も比較的淡白なものが歡迎されるやうである

◆是等の飲料は保健衛生の上から製造販賣者に對して十分な取締規則が設けられてありますが此等の注意は製造販賣者を取締ると同時に飲用者に向つて十分周知せしめたいと思ひます造る方は何萬何十萬と一時に機械の力で造るので一々檢査して調べるけれども此の方には人數がありますが使用者は直接自分が注意さへすれば如何樣にも警戒もし破棄も出來る事ですから使用者の方が今少し飲料に對する注意を拂つて善惡を甄別するやうにせられたい先づ飲料は沈澱混濁せるものは呑まないと云ふ事が一番安全である

◆以前は日附のレッテルで品物の善惡を警戒したが善い物は幾日經ても沈澱混濁等を生ずる物ではありませんから斯る取締規則も既に改正せられたやうな次第です



▲鯖の黄味酢かけ　鯖の頭を右に腹を手前にして爼板に載せ鹽をふき頭を切り落し腹をあけて臓腑を除き能く水で洗ひしそれから三枚におろし薄身を取りましたら手早く表面に鹽を振りかけて器に入れ三四十分ばかり置きます次に爼板に取出し小骨を殘らぬ樣にぬき去り肉目のわれぬ樣に注意して淸水で洗ひ乾いた布巾で水氣を拭ひ器に移し酢を鯖にかぶさる位までそゝぎ入れ十五分間か二十分許浸して置きますそれから鯖の肩の所より指頭で皮をむき去り（皮は尾の方からむくと駄目です）刺身の樣に作りほどよく小皿に盛付け少許づゝ黄味酢をかけて頂きます黄味酢は小鍋に味淋少々と砂糖少許を入れ火にかけ沸立て味淋氣が無くなりましたら鍋を下ろし水で溶いた葛粉少しばかりを混ぜて再び火にかけ飯杓子でかき廻しながら二三度沸立つたら玉子の黄味を別の器にわり込みよく攪き混ぜたものを鍋の内にまぜ込み玉子が半熟位になりましたとき鍋を下し布巾で漉し酢少々と鹽少々とで加味します

一口演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　櫻井町　電話八七三　**大正館**

五月三十日より特別大興行○入場料特に普通
○寫眞豐富にして提供尺數を惜まざるは日活會社の特色
○實寫ピードラ寺院の瀑布
▲米國カレム會社大作
○活劇ヘレンの冒險（電信技士の巻）全二卷
▲日本一の活動俳優目玉松之助一世一代の女形　お馴染の尾上松之助が一生一代の女形として上演し一段の人氣を呼ぶもの美人女形と天明五人女は實に見物
○舊劇天明五人女　全四卷　お局お雪が女天明五人女の驚嘆すべき活劇
○米國キーストン會社傑作　滑稽大活劇デブ君對アラスカ人　全二卷
○日活京都派立花貞次郞以下全員出演　新派劇お夏文代　全七卷
○新派劇鎖劇の大人情悲劇　原作者菊地幽芳先生が二箇年に亘り苦心せられたる大作にて日光東京京都を背景として壯麗なる舞臺面を移せる新派劇の代表的巨篇
○寫眞全十六卷一萬五千尺なる破天荒の長尺に付午後五時半開館
▲從來興行の招待券は御斷申候

電話一九一　**御成座**
新派國友美團 新派劇間三郞一行
一番目　松葉嵐
二番目　喜劇　風と雨

東京小林商會滿鮮一手代理店　米國ユニヴーサル會社特約
直營　早川演藝部　電話（階上）四九三番（階下）二〇五番　**有樂館**
五月廿二日より世界の大會社ユニヴーサル會社が世界一の大寫眞『帝國の復面』全三十卷の内第一回四巻上場　米國の天地東京の上下は今や紫の顏面以て沸騰されつゝあり淺草帝國館は五月一日より有樂館は五月廿二日より公開

安達ケ原三段目袖萩祭文の場　安倍宗任（市川莚若）桂（市川莚之助）八幡太郎（市川小半次）大將（市川紅若）濱夕（市川莚枝）
▲神秘劇『大尉の娘』全五卷　文豪ズーデルマン氏原作別名（歩兵モエピース）
帝劇にて公開の際喜劇ハーバードの評判の高かりし作品……
[illegible]

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
電話二六三七・六五二　**黃金館**
五月二十六日より引續き特別大興行
當館の大英斷階上全部十錢階下全部十錢
滑稽ケンの大正山登り
俳優は全部二十二名の……
▲琵琶史劇我十番斬　高田旭嵐琵琶彈奏
▲米國ベチー社一大雄篇連續公開全十篇二十卷
▲第三第四篇ポーリン　四卷上場
[illegible]

商業登記公告

日韓印刷株式會社取締役藤田謙一ハ大正六年五月拾五日其ノ住所ヲ東京府荏原郡平塚村大字下蛇窪字下村通五百七拾五番地ニ移轉シタリ
朝鮮製綿株式會社ハ大正六年五月拾九日各株ニ付金七圓五拾錢宛拂込ヲ結了シ各株ノ拂込金額ヲ金貳拾五圓ト變更シタリ
右大正六年五月貳拾四日登記
商號設定　商號　豐盛洋行、營業ノ種類　染料製造販賣、營業所　京城府長谷川町五拾八番地、商號使用者ノ氏名住所　同所　藤豐藏
右大正六年五月貳拾五日登記
京城日丸水產株式會社取締役山口太兵衞、和田常市、秋吉富太郎、中村再造、香椎源太郎、並ニ監査役關繁太郎ハ各任期滿了ニ付大正六年五月拾五日退任シ同日取締役林田金次郎、香椎源太郎、進辰馬ヲ除ク他ノ者重任シ且ツ左記ノ者取締役ニ、同日監査役ニ就任シタリ　[illegible]
右大正六年五月貳拾九日登記
京城地方法院

地方金融組合登記公告
大原地方金融組合ハ大正六年四月貳拾貳日定時總會ニ於テ左記ノ者理事ニ當選大正六年五月拾四日就任ス　[illegible]
江原道鐵原郡西邊面官田里
組合長　[illegible]
金城地方金融組合ハ大正六年四月拾八日定時總會ニ於テ理事當選　[illegible]
江原道金化郡金城面芳忠里
右大正六年五月貳拾五日登記
京城地方法院鐵原支廳

▲書籍案内▼

民友社發行　女義士傳
村上浪六　後編　稻田一作傳
桃川如燕　名婦傳
早川貞水　赤穗義士傳　六冊
松林伯知・桃川如燕・國民新聞社編　御前講談
理想の家庭
德富蘆花著　世界古今名婦鑑
高濱虛子　俳諧師
故正岡子規監修　新俳句
山縣五十雄譯　五版小說　過去の罪
德富蘆花著　小說　不如歸
同　縮刷小說　思出の記
○京城日報代理部（振替京城三〇）

寫眞　出張撮影
寫眞銅版・亞鉛凸版　製版
迅速と精巧を期し最も廉價に可致候
京城日報社寫眞製版部

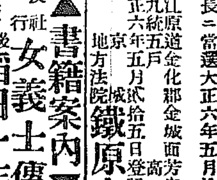
募集
頗る例少き新事業商品收入多大各市郡に支部長又は一手取扱者を募る見本入用者は郵券六錢送れ詳報す
大阪市東區東平野町六丁目　後藤三星舍

公債ト債券
安全に貯蓄しながら一時に二千圓もうける方法
◎勸業債券　毎月僅に一圓均一で割增金付
◎帝國五分利公債　毎月僅な掛金で不知不識に公債證書が得られ外に割增金付
◎現物賣買　公債債券株式等現物賣買を致し又擔保貸出しも致します
の勸業債券十圓を差上げます
◎支部代理店及經營者募集　御希望者は左記へ履歷書御送を乞ふ
東京日本橋區新右衞門町十四　電本三三七一　振替東一九五〇三
諸公債株式賣買金融　東京日本勸業銀行債券取扱店
日本恒產株式會社

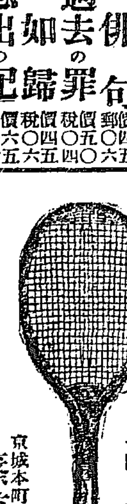
各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六（府廳左横入）　東京パイン萬年筆出張所

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢三厘　金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町　電話四二〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

名古屋發明會社一手販賣　蠅取器
□柳製專賣品トランク
□雨合羽防水布引マント
□魔法瓶及中瓶取替
□其他旅行用具一切
京城本町一丁目　電話一三四番　高木旅行用具店



京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　電話二六〇八番
入院隨意　酒井婦人病院　院長　酒井一郎



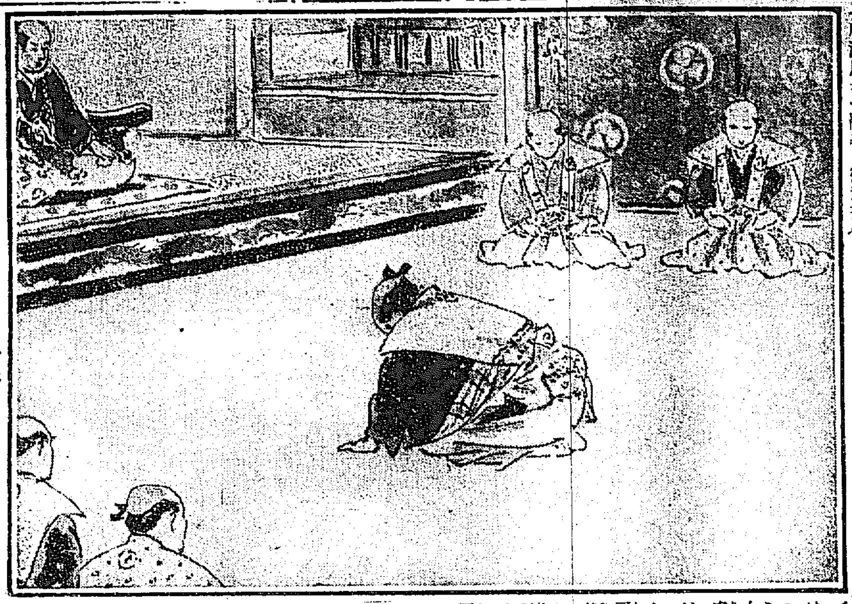
運動用具は京城シノサキに有り
テニス道具　壹組各種　六圓以上ヨリ
京城本町二丁目　篠崎運動用具店

天下一品　金牌受領
猪印のみとり粉
定價　吹出散布器入　金二十錢　立鑵入　金十錢、金五錢
到ル處ニ販賣店アリ
南京虫、蚤、油虫等退治　全滅する事請合

明君道中記

第百六十一席　田邊南龍口演

偖阿部豐後守酒井若狹守等は上州群馬郡高崎を出立に及び日ならずして江戸表へ著いたし委細を老中松平伊豆守御月番でございますから此の事を御屆けに及びました、其時家光公悉く御歎き遊ばされ佛事供養を懇に取行ふ旨を仰出され、上野を始め諸所の寺々に於ては忠長公の爲に供養の鐘を撞いたといふことでございます、右京進重長は暫く高崎に止り國千代君を御介抱申し上げ、自分は一度江戸表へ罷越し御遺書のことなぞを申し上げたる處、天下の役人一同評議をいたし若君國千代を以て忠長公の御家を襲せんと思ひ、此の事を申し上げると家光公深き思召があるものと見え國千代君を元々通り松平衛門太夫へ御預けになりました、安藤右京進重長は此度の儀に就て大將軍家の御覺芽出度早速重長をお召になりまして三千石を下され御秘藏の貞宗の太刀を給りました然る處重長申し出ましたのは「重」何卒只今より手前儀は出家仕度存まするより此段御許下さらば有難仕合に存じまする」左右に控へたる役人も是を聞いて大いに驚き、何で重長が坊主になりたいかと思ふ、家光公お聞き遊ばして家「重長如何なることにて無常を感じ出家いたしたいと申するか、其方は不孝者じやな」重「ハヽツ」重「其方の父對馬は最早五十の坂を踰れたる者、是より安藤の家名を相續して猶徳川家の爲に事を謀り安藤の家名を輝すべきに出家いたすとは如何なる心なるか」重「私の願ひ奉る次第は素より罪ありとは申しながら駿河公御生害に相成り、其他本多上野介を始めとして此の一條に就て落命いたしたる方々も大勢あり此の人々の菩提の爲出家いたし度、又父對馬守にも此の儀承知いたしまする樣頼みまする心底」家「然らば安藤の家名は何者が相續いたすや」重「舍弟重治と申する者相續いたして差支ございません」家「重治は何歳に相成る」重「今年七歳にムいまする」家光公お聞きになると何の仰せもなくつッとお立遊ばした、跡に殘つた重長「重」お伺ひ奉る、恐れながら手前出家の儀伺い奉る」と二度まで申し上げましたが其儘奥へ入らせられました、松平伊豆守進み出「松」「重長御機嫌に逆つては宜しくない、只今の願ひ甚だ其の意を得ず、將軍家深きお召しあればこそ三千石の御加増を下し置かれ、御秘藏の御太刀まで給はりしに出家の願ひをいたすといふは心得難し、其方の智略を深く愛せられる處より却つてお言葉もなくお立になつた、第一父の對馬守が承諾いたさゞる内に出家するなぞとは思ひもよらず、伊豆此を差止める故左樣心得ろ」重「恐れ入りました、左樣なれば伊豆殿へ伺ひまする、日數百ケ日の間御暇頂戴いたしたく、駿河大納言樣百ケ日相立ちますれば御奉公いたしまする」松「ウム其の儀は差許す、某より將軍家へ宜しなに執做て申上ぐるであらう、立歸り父にも其次第を申せ」乃で重長御前を立た、素より安藤重長が出家の願ひを立ても御許しになる氣遣ひは無いけれども他人の口が蒼蠅、年を召して居れば格別未だ若い身にて此度の如き大役を勤め、恬らいふ時には遠慮をしないと多くの人に嫉まれ、或は憎しみを受けることがございますから父と相談の上で右樣願ひ、お聞屆けの無い處で百ケ日の間お暇を頂戴し、乃で上州高崎の大心寺へ罷越して駿河公の御墓守をいたし上野介始め此の件に就て落命いたしたる人々の菩提を弔はれました、是が爲に評判宜く重長を賞めない者は無い位でありまする



京城南大門通二丁目七番地（湊湖農工銀行前）
入院隨意
胃腸病院
院主　佐々木杏造
電話一六五九番

六月一日九星
舊四月十二日甲戌
本命八白　艮　取　先負

▲八白●● 寡慾にして反て笑はるゝ事有る日新事は合藥方は吉貯蓄良▲九紫 調子よき日轉居旅行名引移轉求職婚禮祝ひ等萬吉▲一白●● 當て事違れる事有る日新事手控旅事は吉一切の世話事を禁す▲二黑● 大呑込の事有る日新事手控金談は吉又散財を防がるべし▲三碧●● ふと煽動に乘らんとす注意新事手控家事整理は妨なし▲四綠●● 平運の日午前不印午後は吉新事手控交際の事は吉▲五黃●● 腰の据らぬ事ある日新事手控移轉は吉夜間時にせらるべし▲六白●● 生氣轉居入學命名弘求職婚禮開業萬吉▲七赤●● 揚々たる日轉居旅行入學命名弘求職婚禮結納開業萬吉物に勝つ日

▲書籍御案内▼

德富蘆花　外交奇譚　定價二五　郵稅〇四
同　自然と人生　定價三〇　郵稅〇四
同　青蘆集　定價二〇　郵稅〇五
同　青山白雲　定價二〇　郵稅〇四
同　探偵異聞　定價二〇　郵稅〇五

京城日報代理部（振替京城三〇〇番）

月やくなきにお困りの方は郵券參錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす
京城黄金町三丁目　山田しづゑ

範模　牛乳
ニウソ　石鹸　洗粉
場主　獸醫　肥塚正太
京城蓬萊町四丁目　東亞牧場　電話五二番

皮膚病新研究

現代化學の進歩が完成せる新劑

白色浄血劑

ニキビそばかすをとり生理的に色白くなる歐米流行の内服美身藥

臺所は薪を燃やす所だから天井が黒い曹達水で洗へば一時白くなるが直ぐ又黒くなる若し薪を燃やしながら天井の黒いのを心配する人があるとすれば三つ兒も其馬鹿らしさを笑ふであらう此は原因が目に見ゐるから直解るもの〻見ねなければ世間の人々は平氣で斯樣な馬鹿な事をやつて居るもので殊に今日の進んだ學問から見れば實に笑ふべき事だが、色の黒きに煩悶する人も原因を研究して之れを治さねば白くならない。さて從來坊間の美顔術として頗る右に似たる喜劇が演せられて居たが進んで止まない近代醫學の進歩は最近驚くべき一大理論を發表した

それは從來單純な外面的痛患とのみ思はれたニキビ吹出色黒等の原因は胃腸内の毒素である事が判り、其治療法も從來の外面的塗布藥では無效に發生る能のみならず、延いて内訌を起す惧れがある之は是非共内服藥で毒素を驅逐せねばならぬといふ事になつた。此理論の發表以來歐米に於ては内服美顔美身藥が大流行を極め總ての家庭では常備藥として之を備へ殊に皮膚病に犯され易き青春期に於ては何人も之を公然と服用する事となつた、其結果現代歐洲では「ニキビ吹出ソバカス色黒は殆ど無くなつたさて我國では悲しい哉從來此内服美身美顔藥として一つも理想的の物が無かつた所、今回揃らずも藥種貿易商として有名な東京の博仁房が幾多の年月と苦心を重ね遂に白色浄血劑ベーリンを完成し廣く全國に頒藥した、同劑は全く歐米最新の理論と經驗熟練ある技士に依つて調製された最も進歩した絶對無害の理想的美身藥であるため一般の家庭で公然と用ふる樣になつたが、同劑の驚くべき効用は直に全國の新聞雜誌から湧くが如き大好評を博した今左に同劑効能の一斑を紹介すれば

一、ベーリンは最も新しき學理に基き化學上の新智識を製劑術に應用せる新劑なれば巧妙なる化學作用にて毒素を分解し惡血毒血を清淨にす、而も全然無害也。

一、從つて血色を艶麗白美にしニキビソバカス油顔赤鼻等の皮膚病を原因より治療し再發の惧れなし。

一、ベーリンの主成分は又胃腸を整へ新陳代謝の機能を促進するを以て特藥として用ふれば身體の各機能を旺盛にし眞の健康美を發揮す

一、其他常習便秘を治しノボセ性にてフケ多き髮毛脱落等に顯效あり

同劑は今や上流家庭を始め一般に賞用されつゝあるが餘りに能く功く爲に「ベーリンは劇藥だ」など云ひ觸らした者もあつたが、劇藥どころか却て身體を丈夫にする全く無害の強壯劑である事は百萬金を積んでも保證が出來るから安心して服んで差支へない、今回、發賣元たる博仁房では又々

試驗藥特別大提供

を斷行し治く同病に患む人々を救濟せんとて唯の三十五錢を爲替、振替收入印紙（無ければ郵便切手でもよし）にて送附すれば、送料無代にて試驗藥一個と詳細の皮膚病新治療法を記述せる書册一部を無代添付する筈である、同病に惱む人々よ、直に申込んで一時も早く醜き皮膚病を治療せられよ

東京市上野櫻木町四十番地
瑞西國エミール會社製藥輸入元
ベーリン本舖
藥種貿易商　博仁房
電話下谷二八八一番
振替東京二六九〇番

御料御園白粉

畏くも高貴の御料に召させ給ふ事十數年間の

御園白粉は

發賣してより今日に至るまで永の年月の間絶えず原料を精選し製法に改善を加へて來ましたので、品質の點からも亦衛生上から見ましても天下一品の白粉で、普通の白粉に比べて見ますと

ノリとノビの良い事申分なく

誰方にも容易く美くしく着き

其御化粧榮えの高尚なること

譬樣なく之れを缺さずお粧け遊ばすと、日増しに皮膚を柔軟かに且つ滑らかにし、お顔の色艶を麗はしくし眞から色白の美人となりますから御園白粉を御愛用遊ばす方の御姿は何時も艶かな上に高尚てす。

御料御園化粧品本舖　伊東胡蝶園

御料御園化粧品發賣元　丸見屋商店

(252)

京城日報
五月三十一日
（夕刊と合せて八頁）
第三版

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十錢　郵税一ヶ月金六錢
廣告料　五號活字一行金一圓五十錢　二號活字一行金四圓五十錢
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
電話　編輯部二四五番、營業部一四三番
振替貯金　京城二〇〇番

支那商工業の變遷（十一）

今關天彭

春秋戰國及び秦代の工業

[illegible]王が洛陽に都してから後、諸侯の力が強くなり、周の號令は行はれぬやうになつたが、文化の跡は猶ほ存して居た。春秋時代から戰國時代に入り、人々の思想が極めて自由となり、從つて工業界にも種々なる工夫が出來て來た。公輸般や墨翟の如きは、その尤なるものである。この時、百工が能くその家業を受けついで居るのに注意せねばならぬ。

戰國時代の建築の重なるものは、周の[illegible]臺、晋に銅鞮宮あり、楚の莊王に昆昭臺あり、[illegible]事臺あり、戰國時代に入ると、魏王に弼臺、同じく魏王に[illegible]の范臺、趙の叢臺、齊の雪宮がある。而してこの時代の製造品は、精巧の[illegible]人が續出したのによつて、人目を[illegible]すものがある。象牙を飫めて作つた[illegible]林や、寶飾を錯雜して雲[illegible]の模樣を作つた鏤文席など[illegible]は、その一例である。この外、鄭は刀、宋は斤、魯は削、呉粤は劍の名産地として聞ねた。また新發明のものは、魯般の發明にかゝる推鉋、鑽があり、また農具の桔槹、磑、磨、文具の硯などもある。硯は孔子十哲中の子路が作つたといふことだ。

軍事から工藝に這入つて來たのは、木工製造の秋千と、冠服工業製造の胡服とである。一は齊の桓公が山戎を征伐して傳來し、一は趙の武靈王が胡人にならつて作り、履に代へるに靴を以てした。公輸般の發明にかゝるものでは、機器が第一である。卽ち機關と雲梯とである。機巧は機關仕掛で棺を墓の中へ下すもの、雲梯は戰爭の時に城攻の用に供するものである。

美術界に於ける繪畫、彫刻に至つては、東遷以前既に盛んであつたのであるが、戰國時代になつた特別發明のものがある。鑄像がそれだ。越王句踐は賢相范蠡の國を去つた後、良い金でその像を鑄て、朝夕禮拜したといふ。これが支那に於ける鑄像の嚆矢である。

秦になると、世界的二大建築がある。卽ち阿房宮と萬里長城とである。始皇は六國を滅ぼして支那を統一し、もと居た宮殿の小なるを以つて渭南の上林苑（今の陝西西安府長安縣）中に前殿を作つた。これが阿房宮である。東西五百歩、南北五十丈、上には萬人を坐せしむべく、下には五丈の旗を建つべく、閣道卽ち木で造つた道が、阿房宮の下より南山に至り、その山上を宮闕とする筈であつたのだ。この工事に使つた人夫は凡て七十餘萬人もあつたと云ふ事だ。そのいかに壯大であつたかを想像されるではないか。また長城は北胡を防ぐ爲に築いたもので、臨洮卽ち今の甘肅鞏昌府の岷州を起點とし、遼東卽ち今の盛京奉天府の東南境及び錦州府の東北境を終點とし、その長さが萬餘里に上る大工事である。勿論戰國時代には、長城が齊にもあつた、またその外にもあつたが、始皇はそれを集めて大成したのである。工藝品も阿房宮建築と共に大發達をしたのであらうが、久しい間の戰亂を經て、徵すべきものがないのは遺憾である。しかしながら精巧な青玉五枝燈と、智巧を極めた機弩から推して萬事を想像して見ると、著しい進歩をして居たものと思はれる。五枝燈は高さ七尺五寸、下に蟠龍の蟠つた形をつくり、その口で鐙をくはへ、鐙を燃すときは、蟠龍の鱗がみな動く仕掛である。機弩は始皇を葬つたときに用ひ、人がこれに觸れると、自然に矢が出る仕掛である。また美術方面では、石で像を作るのが特に目立つ。それは多く墓を飾るので、帝王の墓を飾るのには石麟、石象、辟邪（獸名）石馬であつて、人臣の墓を飾るのは、石虎石羊、石人、石柱である。

戰時の米國

機械の極用＝軍事債七十億弗＝一週四十萬噸擊沈戰國の米國

五月三日紐育にて　佐藤得四郎

（前略）小生滯米も最早四箇月餘と相成り近頃は紐育の所謂摩天樓も目に付かず、地下電車もさう速いとも思はず、ブロード街四十二丁目の人通りの多き事、五丁目街の自動車の通行頻繁なる事も尋常事と心得、別に感心もせぬ樣相成稍や田舍氣離れたるものと存せられ候。米國は御承知の通り總て日本の小に比し大に有之候。銀行の如きもすべて機械の力を利用し計算でも手紙の送受信でもタイプライターに蓄音器を應用したる等、人手を省く事に苦心したるは勞力高價の爲めと存候へ共、總て我國に應用出來ぬものゝみに候。米國を研究しても取て以て我國の範となすを得るもの少なく、此點に於て小生は獨逸研究の必要を絶叫する一人に有之候。獨逸の今日迄の進歩發達は宜しく日本が取つて範とすべきもの、又今次の戰爭により彼が經驗したるものは正に日本の警飛すべき點を教ふるものと存候。平和恢復後は大に獨逸研究に當らんと覺悟致居候。米國は御承知の通り軍事公債七十億弗、日本の百四十億圓といふ鉅額の發行を數日にて議決し去り、內三十億弗を聯合國に貸與すとし、而かも其返還の可能と否とを眼中に措かず聯合軍を資金助するは米國の義務なりと稱し居り候。今や英佛の使節は華府に於て軍事會議を開き日々善後策を研究致居候。最近の發表によれば昨今獨艇の橫暴甚しく一週間四十萬噸を擊沈したりと云ふに至りては聯合國たるもの之れが對抗策に腐心せざるを得ず、去る二月獨逸が無制限潛航艇戰略發表の際は、一箇月百萬噸と稱せしも、二月中約五十萬噸を擊沈したるに過ぎず其後漸次其數を減じたる如く考へ居りしに（其後新聞紙に發表なき事となれり）急に一週間四十萬噸の數字を見て皆驚愕措く所を知らざるの有樣に候。今後如何成行くや見ものに候。併し米國は何處迄も富の國、然かも戰爭により巨億の富を得たるものが今回右軍事公債の中二十億弗丈けを三分五厘利付にて發行の件發表せらるゝや直ちに一會社にて千萬弗五百萬弗といふ大口申込有之、紐育丈けにて十億の應募あるべしとの噂に候。大藏卿は此軍事公債を Liberty Loan of 1917 と命名し米國が世界人類の自由の爲め干戈を執るに至りしものなれば此名を冠すと云ふに至つては、何處迄も米國式を發揮し、自由とか平和とか共和とか云ふ名の下に世界を相手とし世界人類の爲めを標榜致居候處道が大を以て誇る米國なりと存せられ候。此勢を以てせば戰後米國の勢力は世界を壓するに至るなきや、歐洲諸強國には何十億の貸金をなし、中南米には最早政治上、商業上の覇權を握り、支那方面にて手足を張らんとす、而かも國內に於ては今や製造工業のエフイシエンシーを計り農業の開發獎勵を爲し以て食料品問題を解決せんとす、聞く所によれば陸軍徵兵制案亦今や議會を通過せり、戰の名の下に海軍の大擴張をなし、百萬乃至二百萬の常備軍を得る亦近きにあらむ、恐るべきは戰後米國が世界に覇者となりてモンロー主義を捨つるの時至るなきやを。

ひとり言

大阪にて　青蛙生

○綿系相場の大暴騰に一躍成金となつた店が少くない、猛烈に買煽つて三品取引所のレコードを破り百萬圓內外の新成金となつたものはザラにある、ブローカー仲間でも二階住居から邸宅買入に著手したものもあるらしい、船鐵成金の時代が過ぎて紡系成金の全盛期が來たのかしら。

○愛知醫專教諭博士林直吉氏の慈出研究が經濟のため頓挫せんとするを聞き久原房之助氏は年額一千圓乃至二千圓を補助提供する事となつた美事である。

○商船を去つて宇電の總支配人となつた中川淺之助君は電氣事業に經驗は皆無だがベストを盡して多事な本社の事業を經營し難局に衝るのは男子の快心事だと云つてゐる、好漢努むべしである。

○大阪市の電燈現今百萬燈を超過するに至つた、之も時局の影響に外ならずと云ふ、兎も角百萬燈の理想は現實された譯だ

○大阪市過去一箇年の離婚數一千十四件、內五箇年未滿のもの六百五十六件を占めてゐる、文明の罪か因襲の罪か。

日報歌壇

◎　京城　谷口江花

山の風やゝ強に吹く夕べなり庭おほ空に輪を描がきつゝ

山かぜとごろ背戸の大樹はざわ〳〵と終日終夜鳴り止まずかも

◎　平壤　游公

おみ祓ひ振りてもみたりすずろにも幸を願ひて初夏の宵

◎　京城　香山秀雄

遠山は夕もやのうちに消ねにけりわが悲しみのまだ消ねなくに

われ獨り吹きてあるは覺かしさ砂を拂ひて立ちあがりけり

石くれをなげすつることこの寂き驚て得るすべの話きが悲しき

市況

▲當限受渡高　[illegible]の入電二節八十七錢三節八十三[illegible]の移り　○九百石の大受渡しな[illegible]渡し方二一、三五〇[illegible]〇△受取[illegible]

●解合談進行　別項の如く當月限受渡高確定に付き[illegible]の事情ありたるより前場定刻に至るも確定せず[illegible]りしが午後三時過ぎに至つて前記の如く附け出し完了したるより調停者及解合委員[illegible]同近に懇談に會合する事になり只今同談[illegible]

[illegible]氣配は大阪眼米の[illegible]より人氣は更に[illegible]なるも安値は未だ[illegible]ず爲に商談捗々敷からずとの事　△長淵大豆十圓海州小豆十一圓等にて出來たり

●天然曹達好況　鄭家屯北方從來の[illegible]達輸入杜絶せし爲價格頓に[illegible]行き亦頗る良好となり已に[illegible]品全部を賣盡せり（奉天）

[illegible]されば之れを內省と同一制度の下に統治するは施政上種々の障碍あるを以て支那政府は滿蒙特別省案を制定するの意あり過般來法制局は內務[illegible]

下之れに關する意見を滿洲各長官に徵しつゝありと其實現期は不明なるも支那政府が滿蒙に於ける其主權の維持及び土地の開發拓進に腐心[illegible]

[illegible]京漢鐵道は[illegible]なる支那政府[illegible]ん[illegible]目下[illegible]窰鐵道にして張家口綏遠間は目下漸く其三分の一の敷設を終り其殘部は交通部の計畫にては明[illegible]竣功の豫[illegible]猶同線落成の上は之れを五原方面迄延長して蒙邊防務の完全を期する由（北京）

六月一日より三日まで（三階に於て）
夏衣新柄よせきれ見切反物大賣出
六月一日より（三階に於て）
■新柄浴衣地陳列會
京城　三越呉服店

右京城學校組合議員候補者として最適任と認め之を推薦す
高木壽
京城有權者有志

東北帝國大學理科大學講師　理學士岩崎重三氏著
實用鑛物鑑定及岩石分析表
增訂七版出來!!　ポケット型　四六十製　[illegible]
大正六年版　主要目次　鑛物鑑定表・岩石一覽表・吹管分析表・元素表・主要鑛物熔融度表・炭化水素表・ゼーゲル錐表・ボーメ比重換算表・地質時代表・礦物表・比重表・比較表・結晶學一覽表・希臘文字・鑛物比重表・應用鑛物一覽表

熱狂的大歡迎
探鑛法
「今や歐洲の大戰次第に終局に近かんと欲するの時探鑛の機運は日に月に隆盛に向はんとす、且夫れ本邦と言はず朝鮮と云はず又かの廣漠たる支那の原野が至りて鑛脈を試むるもの、行けよ愛國の好男子地は人を俟てり人は地によりて立つ、汝が依りて立つべき秘は正に此探鑛法に依りて與へむとす之れ著者が卷頭に叙したる機抱の一端なり著者の自信や既に然り本書內容の價値如何は敢て茲に絮説を要せず先づ第一篇に於て鑛床學中探鑛者に必要なる部を說き第二篇に於て各種有用鑛物につき一々探鑛の法を論じ第三篇に於て當時流行を來さんとする試錐機械と其方法を明にし第四篇に於て試錐法にて得たる結果の計算法を說き第五篇に於て鑛區測定と出願の方法とを示し第六篇に於て試料採集の爲めに起る欺詐を避くるの注意を喚び第七篇に於て鑛山價格決定の法を夫々明快なる叙法を以て說明し鑛業に關して全然門外漢と雖も一讀瞭然たる所勘からず況んや現に斯業に從事しつゝある者又は將來之に志ある者にとりて無二の好指針たるべきは茲に確言して憚らざる所也著者は能文の士諸君なして知らず識らず讀了して毫も倦怠を感ぜざらしむ挿入せる版圖又精細詳密を極む」
高着雅版新上裝製本　定價金壹圓五拾錢　送料金貳拾錢

岩崎先生著
實用鑛物學講義　定價金四圓四十錢　送料四十錢
日本鑛石學第一卷石炭篇　價貳圓八拾錢　送料三十錢
山本鑛石學第二卷金篇　價貳圓五拾錢　送料三十錢
日本鑛石學第三卷銀篇　價貳圓貳拾錢　送料三十錢
本邦岩石圖　定價金五圓　送料四十錢
（圖書目錄送呈）
東京日本橋區大傳馬町　內田老鶴圃
振替東京一二一四六

最新刊
六月一日　京城黃金町一丁目　電話一九一六番
歡迎　田村寶店
商品擔保便利取扱

京城本町二丁目　電話二五二番
陳列所　ウツボヤ書店
發賣元　京城日報代理部

書名　著者　定價
支那の眞相　大河平隆光　一、七〇
進むべき道　高橋文藏　一、三〇
新譯韓非子　野中元三郎　九〇
工場能率增進　用[illegible]十二郎　二、八〇
戰時に於ける我國の教育　[illegible]　一、三〇
天眼　通村上浪六　一、二〇
各學年尋常小學算術新教授書　後藤[illegible]　三、五〇
世界大革命史　野中[illegible]　九〇
帝國劇場 各國著名會議 寫眞[illegible]　一、三〇
力の活用　大內[illegible]　一、二〇
各科教授法批評の規範　[illegible]　九〇
兒童の實際と理科教授の實際　西川[illegible]　一、〇〇
生活の力と道德　[illegible]　一、〇〇
羅生門　芥川龍之介　一、〇〇
珠算と暗算の秘訣　[illegible]　九〇
繁昌する商店　[illegible]　八〇
日本仇討物語(上)　[illegible]　一、三〇
修身教材模範兒童　[illegible]　一、〇〇
最新肺病治療法　[illegible]　一、〇〇
歐洲社會黨の現狀　安部磯雄　一、〇〇
私の奧の手　米田[illegible]　六〇
補珍朝鮮行政警務法規集　[illegible]　五五〇
京城本町一丁目　大阪屋號書店　電話六〇・二六六番　振替京城二五七三番

淑女画報
六月號出でたり
▲矢車草（オフセット版口繪）　森田ひさし
▲水光（若葉風（二色刷寫眞版二頁））
赤十字愛國婦人會總會
御散策の久邇宮兩殿下
兩陛下島津公邸行幸啓
台臨の二皇子殿下
▲大隈侯邸の園遊會　▲婦人界の花見
▲大使館園遊會　▲十劍流武舞の種々
▲大阪令孃の今樣舞　▲名流の友禪の染下
京阪女學校出身者の同窓會
▲婦人佛教會と村雲尼公猊下
▲『遠足は何處へ』（懸賞寫眞）
讀物一
智情の調和（訓話）　加藤咄堂
讀物二
▲源氏物語『三品の女』　小杉幸子
▲白無垢姿の花嫁　[illegible]
▲小說　愛の勝利　小栗風葉
▲流　[illegible]
▲て上品な衣服の選擇　[illegible]
▲寢の居間と次の間　三浦元秀
▲心の神秘と家庭教育　[illegible]博士
讀物三
▲食物の腹の減った快味　市原鷲頭
▲女性の幽靈　[illegible]
▲諷刺質諧「虛榮競べ」　[illegible]
▲和漢道話　西郊老人
▲李獅々　幸田露伴
▲經濟な家庭の洗濯法　[illegible]
▲手輕の料理法　服部[illegible]
節儉食物の話　學博士三宅[illegible]
定價金卅錢
東京本町　博文館

朝鮮諸官廳受驗叢書
京城專修學校教官安達大壽計著
▲朝鮮六法要論　全一冊
▲朝鮮行政法規大意　全二冊
▲會話譯文速成　全一冊
▲作文軌範　全一冊
▲法律問答　全一冊
高等普通學校教官　阪上綱吉著
本叢書は專ら朝鮮に於ける各種試驗に應ぜんとする受驗者の爲めに著述したるものにして、在來提出せられたる試驗問題は勿論今後に於ける試驗問題をも適切明確なる模範的答解を網羅し、而も當局者の方針に準據して懇切に說明し以て最も適合せる好評を博し、他に其類を見ざるものなり。凡そ受驗を求むるものは何人も必ず此等の書を施行せる無きの狀況を呈せり。故に朝鮮總督府及所屬各官署に於て施行せる文官、判任見習、雇員、警部、巡査、看守の各種試驗に應ぜんとする者は本叢書に由りて江湖の諸彥は迅速と正確とを期し、宜しく其の受驗準備を以て一日も早く有し給はんことを希ふ。
發賣所　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

支那の形勢

▲李氏去就を言明せず

李經羲氏は北京よりの報告に對し一切自己の去就心事を明言せず故に氏の就職承諾に對し許否二樣の觀測行はる（北京特電）

記者曰く、三十日夕刊所載北京電報は李經羲氏の總理任命を報じ居れるにも拘らず今尚同氏が去就を明かにせざるは多分段派の陰謀及び北洋派軍人の妨害運動を顧念し居れるに依るものなるべく、自ら支那政界の混沌たるを語るものなり

▲倪嗣冲討伐命令下る

張懷芝、張作霖亦獨立せん

二十九日倪嗣冲は獨立を宣し兵員輸送の爲め津浦線車輛を押へ蚌埠驛にて既に張勳の兵と衝突し是が爲め汽車不通となり張懷芝、張作霖兩氏之と相呼應して立たんとす政府は二十九日夜討伐命令を馮國璋張勳兩氏に發したり（北京特電）

▲張督軍獨立か

奉天の張作霖は獨立せりとの情報あり（北京特電）

▲倪將軍獨立經過 人心恟々たり

倪嗣冲氏は最近津浦鐵道の列車六十臺を差押せし事交通部に探知され政府は彼に出兵の魂膽ありと爲し三十日倪氏を免職すべく協議中之より先き廿九日倪氏の兵は張勳氏の兵と衝突せるものなり倪氏の兵は二十九頃豐臺（北京附近）に到着する豫定なりし由にて人心恟々たり（北京特電）

▲米支借款斡旋を依賴

黎總統は外交部參事を二十七日米國公使館に派しモルガン、シンヂゲート代表との間に借款締結方斡旋を求めたるが代表者は支那の政局定まる迄交渉に應ずるを得ずと答へたりと右借款は段總理がシンヂケート代表者と協議せる二千五百萬元借款計畫のものなり（北京特電）

◎蒙匪討征軍急行 注目すべき勝福の嚮背

海拉爾の蒙匪は近來益々暴威を振ひ最近の情報に依れば勝福も彼等と行動を共にし居るが如く征蒙總司令黑龍江省第一師長許蘭洲は混成旅團を編成し急遽討伐を爲すに決し討征軍は興安嶺を越へて海拉爾に急行せり蒙匪は總數四千餘野砲三門多數の小銃及び機關銃四門を有するも烏合の衆に過ぎず唯勝福の嚮背如何が注目點なりと云へり（大連特電）

◎海軍將官異動

三十日左の如く辭令ありたり（東京特電）

第二艦隊司令官 海軍中將 竹下勇
免本職補海軍將官會議員兼海軍々令部參謀
海軍中將 千坂智次郎
補第二艦隊司令官
海軍少將 平賀德太郎
補海軍教育本部第一部長兼二部長

◎日郵重役辭職

日本郵船會社勅重役片岡直温氏は林專務既に辭職し紛紜解決の目的を達したるを以て三十日辭表を提出し中野武營氏も亦同日辭表を出せり猶和田氏も辭任すべしと（東京特電）

◎近年稀有の地震

本月二十八日午後六時頃平壤龍岩浦奉天等に於て地震ありたる旨同地測候所より仁川觀測所に報告ありたり此地震は平安南北道の沿岸より滿洲奉天に亙る地方一般に感じ殊に奉天より龍岩浦に亙る地方に稍々著しかりしが如く右兩地にては家屋の動搖を認め又平壤にては障子の鳴るを聞きたりと云ふ仁川に於ては人體に感ぜざりしも其波動は同所の微動計に鮮明に記錄せられたり而して其振動は午後六時三十七分十二秒に明瞭なる初期微動に初まり四十八秒間の後稍急なる主要動に移り午後六時三十八分十秒に振動最大に達し全振幅〇、三粍に及びしが爾後振動急に微弱となり遂に午後六時五十一分頃全く靜止せり本地震の震源は振動の狀態より推算するに仁川より北方約九十里の地點にあり蓋し鴨綠江以下流域に發したるものならん因に龍岩浦にては昨年十一月二十四日にも微震ありたるが今回のものは之に比し遙かに著しかりしが如く朝鮮に於て如斯地震を觀測したるは近年稀なることなりと

（右）新任國務總理李經羲氏（左）獨立したる倪嗣冲氏

◎紙料會社行惱 發起人の脱退

子爵遠山友鄕氏を創立委員長とせる東京紙料株式會社は頃日來創立趣意書目論見書等を配送し朝鮮各地に於て株式募集の勸誘中なりしが創立事務に關し内部に故障を生じ發起人工學士中島德太郎、紙糸紡績會社專務小川雄逸、贊成人子爵久留島通簡、馬屋原仙一の諸氏は最近脱退し無關係となりたる由

◎製粉合同混沌

朝鮮に於ける三製粉事業の合同に就ては去る二十八日迄に高野三井京城支店長の手許へ成否通知し來る事となり居りしも其後の情報によれば尚ほ合同成立に到らずとの飛電ありしのみにて結局成否分明せず若干行惱みの模樣あり唯既記の如く朝鮮に於ける年間需要量以上の製粉生産力を擁せんとする三製粉が均しく其の操業を開始すれば前途の困難は明らかなる事實に付其の合同の必要を唱ふる人多し

◎日滿露旅客手荷物制限

本月二十八日以降東滿及び露國行旅客は手荷物受託最大限重量を左記の如く制限せり

二等客 百六十三瓩
三等客 八十一瓩

◎安東發貨物取扱改正

滿鐵安東發專用支線に於いては十五噸以上の貨物に限り發送の取扱ひをなす規定なるも安東驛に於ける專用支線に鮮鐵所屬小形無蓋貨車を差入れ使用する場合に限り特に一口十英噸にて發送の取扱ひをなし得ることに改正せられたり

◎京畿戸稅狀況

大正六年四月一日現在調査に係る京畿道戸稅現況を聞くに總戸數三十三萬六千七百零二人に對して家屋稅實行地戸數八萬六千百三十五極貧其他に因る免除戸數四千五百零八戸なるが本期賦課は戸數二十四萬六千零五十九戸稅額三萬六千九百八圓五十錢にして前期賦課三萬六千八百五十一圓七十錢に對比すれば五百七圓十五錢の增額を示せりと

◎安東發著貨物手數料

朝鮮鐵道各驛と滿鐵安東驛相互發著する大貨物の安東驛に於ける發著手數料は滿鐵の規定によるものなるが斤量の計算方は朝鮮鐵道の規定によるものなり從て重量計算による貨物發著手數料は右により計算すべしと云ふ而して本料金は一個六米噸を超過するものは一米噸又は其の端數毎に一圓四十錢六英噸を超過するものは一英噸又は其の端數毎に七十錢を徴收さるるものなりと

◎全鮮公醫講習會

警務總監部にては各道より公醫二名宛召集し六月四日より向ふ二週間總督府醫院及び山淸洞總監部細菌檢査室にて全鮮公醫講習會を開催す可く其講習科目左の如し

▲臨床的方面の傳染病學及び病原細菌學公理並實地▲一般細菌檢査法及び病理學公理及び實地▲痘病及び種痘▲法醫學公理及び實地▲寄生虫病學▲虎列拉流行史

◎事態愈々重大 張督軍等反對＝何事か畫策す＝人心動搖す

二十九日奉天、省督軍張作霖氏、山東省督軍張懷芝氏等より總統府に宛て黎總統の安徽省長倪嗣冲氏、段氏免職の處置に大反對なる旨の電報來り辭令極めて激烈にして是等の諸氏が何等か重大なる件を計畫中なる事を豫想せしめ、南口中に非常なる重件あるべく取沙汰されたるが卽日倪嗣冲氏の敵對行動を見るに至り北京市中は不安の雲に閉され人心動搖せり（北京特電）

支那遍歷 中島生

山東鐵道（上）

支那に於ける鐵道は、多くは外國の資本を以て建設せられ、其の經營に於て多少外國の掣肘を受くると雖も管理支配の實權は支那之を掌握す。京奉線然り、京漢線然り、津浦線然り、滬寧線然り、其他多くのもの亦然りとす。但だ茲に三四の例外あり。卽ち日本の南滿鐵道、露國の東淸鐵道、獨逸の山東鐵道、英國の九龍鐵道、佛國の廣西、滇越兩鐵道等は、所謂外國承辦鐵道として、資金、敷設、經營共に殆んど外國の手中に歸せるものにして、支那官憲の支配外に在るものとす。山東鐵道は日獨戰爭の結果、今我邦の管理に歸せり。其の沿革は詳述するまでもなく人の知る所也。然れども此の場合に於て、一言費す所あらしめよ。此の鐵道は千八百九十七年獨逸が膠州灣占領の結果敷設權を要求して獲たるもの也。獨逸は夙くリヒトホーヘンの調査に依りて、山東省富源開發の希望を抱き、虎視耽々として、何等かの機會到來を窺ひ居たりき。寧ろ機會を促進しても山東に立脚地を作る口實を得むことを焦慮したり。偶ま兗州府に於ける獨逸宣教師三名殺害事件の突發は、彼に取りては願ふてもなき好機會なりき。彼は此機會を最も敏速に捕捉し、最も辛辣に利用せり。獨帝の鐵拳演說によりて、行を壯にせられ、而して皇帝がハインリッヒ親王を司令長官に戴ける獨逸艦隊は東洋に急航し、有無を言はさず膠州灣を占領せり。此間の事實は疾風迅雷の勢を以て進行し、斯くて獨逸は武力的威嚇と、巧妙なる外交手段とに依りて、遂に千八百九十八年膠州灣租借及び鐵道敷設並に鑛山採掘權に關する條約を淸國政府と締結したり。殺されたる三名の宣教師の血は、靑島の市街と化し、山東鐵道と化し、豐富なる鑛山と化せり。何ぞ其値の高價なるや。獨逸は淸國との條約に基づき、靑島より濟南に到る鐵道敷設の計畫を立て、之れが特權を自國の投資銀行團に賦與し、十餘の大銀行を以て成るシンヂケートは、千八百九十九年六月、資本金五千四百萬馬克を以て山東鐵道株式會社を組織せり。其年九月工を起し、千九百四年に至り、靑島濟南間三百九十五粁、博山支線三十九粁を完成し運輸營業の開始を見たり。千九百十三年には山東鑛山會社を合併し、資本總額は六千萬馬克に增加し、日獨戰爭に至るまで經營を續けたり。會社の組織は監査役二十六人、其任期五箇年にして、毎年五人宛交代し、取締役は六名にして、監査役之を任命し、首席取締役外二名は伯林の本社に在り、三名は靑島に駐在して直接經營に當りき。

現在の線路は、靑島濟南間二百四十四哩九分を幹線とし、博山支線二十四哩二分、淄川炭鑛線四哩を併せて二百七十三哩一分あり、四呎八吋半の標準軌道にして、單線なれども、他日複線となすの準備は既に整へ居れり。枕木は悉く鐵を用ひ、橋梁架堤等の施設實に用意周到なる獨逸式を遺憾なく發揮せるを見る。沿線用地帶內にアカシヤ楊柳等を植ゑ既に十有餘年を閲して鬱々たる森林を成せり。山東の地風多く、黃土粉砂を飛ばして、眺望不快なれども沿線林の蒼々たるを望むの時、旅行者は爲めに眼を樂しましむるを得べし。獨人の用意は、是等の樹木をして、數十年の後、現在の鐵枕木が腐朽する時に、之に代らしめんことを期したりと云ふ。事物をして極度までに効用あらしめんとする獨人の經濟思想は、今日敵乍らも、推稱に値せずや。

◎滿洲企業の要素

鐵と石炭は其の二大要素 [illegible]

したる今や內地の企業熱は頗る沸騰して東京よりも關西、就中大阪神戸[illegible]と[illegible]其の焦點ともいふべき[illegible]

[illegible]れども而も鐵の問題に至つては[illegible]に我國に原料を得ること能はず結果如何にしても之を[illegible]

般用の製鐵は悉く之を官設の製鐵所に仰がざるべからず[illegible]するものなるが今日の狀態を以てす[illegible]

[illegible]ともいふべきは[illegible]

▲[illegible]

[illegible]鞍山鐵にして此[illegible]する滿洲[illegible]

何となく薄弱なるを感じ將來に於て[illegible]寧ろ滿洲か東亞の事業地として頗る大進歩大發達をなすべきことを確[illegible]

來に開發の運命を有する所以なり其[illegible]ともいふべく殊に大連に於て此の他製廠、炸藥等の事業も必ずや相當[illegible]感を深くする所以なるも之が爲め將[illegible]發展の時機[illegible]の企業[illegible]

新水源地を造り工業の發達に資することを得ば其の缺陷を補ふに足るやも知らざれども是れ中々の難問題なるべし

◎全鮮警部講習會

警務總監部にては六月十六日より二週間全道內地人警部五級俸以上を召集し警官練習所に於て講習會を開催す可し

◎柳田翰長入京

貴族院書記官長柳田國男氏は三十日午後七時五十五分南大門驛著列車にて入京、關屋學務局長官舍に入れり

◎後藤副參事等入京

鐵道院後藤副參事鈴木技師は朝鮮滿洲兩鐵道視察を命ぜられ三十日午後九時南大門驛著列車にて入京す

◎服部事務官入京

曩に東京に開催されたる鐵道協會總會に出席したる臺灣鐵道部事務官服部仁藏氏は歸途滿洲を經て近日中朝鮮視察の爲め入京の由

◎安藤未亡人歸鮮

久しく亞米利加に滯在中なりし故安藤未亡人は令息及び同夫人を伴ひ三十日午後九時南大門驛著列車にて歸京せるがグール博士尹致昊氏を始め多數の宣教師は途中迄出迎へ南大門驛にも多數の出迎ありたり

◎根津室田兩氏來著

忠北鐵道株式會社發起人東京根津嘉一郎、室田義文の兩氏は二十九日午後五時四十八分出願線分岐點たる芙江驛著、同地內鮮官民全部及び淸州より出迎へたる忠北道齋藤第一部長佐々木第二部長前田警務部長申郡守齋藤署長並に期成同盟會役員等數百名の歡迎を受け休憩所に充てたる小學校々庭にてビール茶菓の饗を受け小憩後同六時十分發自動車にて淸州に向ひ七時半淸州著同所にても內鮮官民千餘名の盛なる出迎を受けたり因に一行は出願線視察のため三十日忠州に往復すべし（淸州）

◎正誤 三十日夕刊一面電報欄中『倪安徽督軍』とあるは『安徽省長』又『倪督軍』とあるは『倪將軍』の誤植

人事消息

▲末松四郎氏（松川守備隊長） 三十日夜入京滿尾へ
▲中島八郎兵衛氏（淺野鑛山技師） 同上
▲佐藤潤象氏（朝鮮輕鐵重役） 三十日朝退京
▲張守根氏（鐵嶺育英學校長） 同上
▲右近權左衛門（日本海上生命支配人） 同上
▲高瀨氏（司法官試補） 同上
▲早瀨完二氏（日海工業支配人） 同上
▲柳廣一氏（日本關門主幹） 同上
▲天地樸兵術氏（貿易商） 三十日夜退京
▲名古屋視察團 同上
▲須藤素氏（江原道第一部長） 三十日朝退京
▲市川第三十九旅團長▲谷澤副官 同上
▲神田鎮雄氏（鎮窯家） 三十日午後九時南大門驛著歸京

寓言北語

歐米人のやる事は一體に大きい▲カーネギーは一人で聯合國慰問金として百萬圓投げ出して居るが▲日本から聯合國へ送る慰問金は全國から募集してやつと百萬圓▲カーネギー一人の寄附高と違はないとは恥しいよりは驚かされやう▲米國が對獨宣戰をした當時カイゼルは米國製鋼會社長のシユワツブ君に二億弗出すから聯合國へ武器を供給しない樣にして呉れと交渉した▲シユワツブ君は世界人道の爲めだと斷然跳ね付けたので取らなかつた方が偉いと云ふ評判になつて居るが▲二億弗と來ては恐らくレコード破りだらうが思ひ切つて投げ出さしたのは流石はカイゼルだ▲毎木曜日の早朝警務總監部構內の廣場へ憲兵將校や警務官等が集つて盛に體操をやつて居る▲胡麻鹽頭の老視や白髮混りの口髭をはやした警官などが上衣を脫いで熱心な處は却々に大元氣だ▲此の體操は龍山の門根大尉が戸山學校で習得して來た最新式瑞典式のもので昔の獨逸式などゝは全く違つて居る▲腰の曲つた人が延ふとは其らチト仰山らしいが健康上には非常に善い相な▲之れは一般學校でも善からうのみならず運動不足の紳士諸君は團體を作つて一定の時間練習すれば健康上に此の上もない事は受合▲言ふ迄もなく其の時には眞ツ先に馳せ參ずる事にせう

◎總督府公文附錄添付

女子の本分

▲料理の出來ぬは女一生の損
▲禮法を知らぬは女一生の恥

▲一擧兩得の妙案 女子の本分は、婦道を守り、家事に專らなるにあり、茶の湯、生花、音樂等の如きは、趣味を向上せしむるに必要ならんも、更に肝要なるは、家庭料理を研究し禮儀作法を習得するにあり。女子にして此の心得なくば如何に趣味の向上を努むるも、遂に實務的婦人となる能はずして、女子の本分を盡し難かるべし。家庭料理の研究は日々三度の食事を經濟に、美味に、また滋養あらしむるを得べく、禮儀作法の習得は、日常の所作進退に度あらしめて恥はぬ耻をかゝぬ要訣なり、女子たるもの、必ず習得せねばならぬ事ども也。

されば婦人界近來の傾向として、女子は何人も料理の研究と、禮儀作法の習得に心を用ひつゝあるが如きも、何れも最良の講習無きに惱むが如し。

▲板垣伯夫人は 此點に留意し夙に東京割烹講習會を設立し、同所より講義錄を發行し、家庭の婦人に、少なからずして料理と、禮儀作法とを容易に習得し得るの便宜を與へ、實務的婦人の養成に心を盡しつゝあれば、今茲に同會發行の家庭料理講義錄の內容を紹介すべし。

▲年中行事と料理 ▲正月と追儺▲雛の節句▲端午の節句▲盂蘭盆▲七夕祭▲十五夜▲重陽の節句▲七五三▲大祓▲除夜等の年中行事には趣味ある講述をなし、附するに其の料理を以てし尚▲出産祝▲婚禮式▲誕生祝▲還暦祝▲米の祝等の人一代の行事に悉く詳細に說明し其の料理法を講述しあり。

▲日本料理科 ▲名稱▲會席料理▲三汁八菜▲二汁七菜▲一汁五菜▲一汁三菜▲家庭向總菜料理▲卽席料理▲晚酌料理▲季節飯の炊方▲老人、小兒、病人の食物等の日本固有の料理を始めとし

▲西洋料理科 實益と趣味を兼ぬる記事頗る多し。▲獨逸名國料理▲米國の料理▲正餐の獻立▲略餐の獻立▲日常料理▲一品料理▲パンの製法及び珈琲紅茶の入れ方まで西洋料理に關する事項は、詳細に說明しあり。日本料理禮儀作法の欄と相俟つて、本講義錄の中心記事と思はる。

▲支那料理科 支那料理は最も進歩せる料理なり。本講義錄は其の點に留意し

▲和洋菓子科 實用に家庭の娛樂用たる高尙なる和洋兩種の菓子製造法を講述す。

▲漬物 漬物は日々の食事の必要品にして、簡單なるも困難なるは到らず手を下したるものに容易に味する所なり

▲禮儀作法 料理の講義錄に作法の欄あるは、同會目的のある所なり▲日常の座作進退の所作▲和洋食卓法▲嫁入り、婚姻▲男女、衣服の心得等まで、凡て心得ねばならぬ禮儀作法は、悉く圖入にて說明しあれば、何人も容易に會得するを得べし。

▲本講義錄の特色 本講義錄の特色は其の記事が悉く實習の結果たる事なり。同會には講師の女子講習生あり、又洋食の研究家あり、何れも斯道の專門大家が執筆して、其の講義實習せるものを直ちに記事としたるが本講義錄なり。されば本講義錄が他の講義錄と全く撰を異にせる事は勿論、文章平易、總振假名を以てしたれば、何人にも容易に解し得べし。而して其の講義が常に季節を追ひ、一も季節外れのもの無きも、亦この講義錄の長所と云ふべし。

▲會員募集 目下同會は會員の大募集中にして此の際入會の者には、種々の特典あれば入會の最好機會なるべし。會費は一ヶ月三十五錢。三ヶ月一圓、六ヶ月一圓九十五錢、一ヶ年三圓六十錢なり。

▲入會の手續 極めて簡單にて、ハガキに講義錄送れと書いて申込めば、直ちに會員として送本し、會費は後に其の地の郵便局より集金に行く故、何の手數も無し

▲五大特典有り 入會金免除、料理必携、雜誌六ヶ月前納者には家庭寶典を、一ヶ年前納者には記念メダル及び婦女通鑑を進呈す

▲內容見本 希望者には、請求次第無料進呈すと云へば、遠慮なく申し込まるべし。尙は同會は振替口座東京一九四一〇番、電話下谷五六九二番なり。

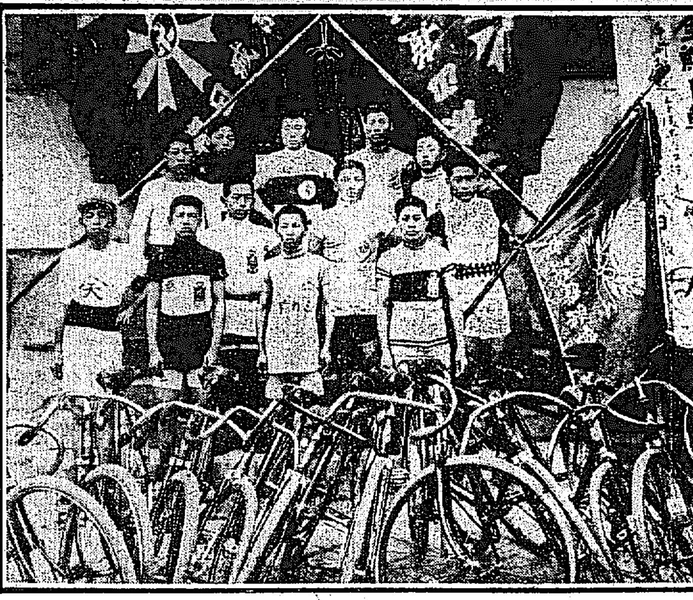
東京本鄉元町一ノ三
東京割烹講習會

國澤滿鐵副總裁談

▲內地の企業熱 余は久しく在京して內地の經濟狀態をも視察[illegible]業の計畫あり而して其の原動力として鐵と石炭を要するは勿論のことなれるが九州方面は石炭の產出により事[illegible]

▲若松博多には所々小製鐵所の計畫あるもの丶如く其の原料を支那より輸入して簡易なる方法により一[illegible]ろならんと信ぜらる但し此點に至りては內地は尙ほ甚だ不便の地にあり一度滿洲に來らんか實に天與の寶庫[illegible]さる可ら[illegible]よりの[illegible]視察して其の[illegible]繁榮な[illegible]貧し資[illegible]拘はらず尙ほ其の根底の[illegible]遂[illegible]產物も亦滿洲の寶物にして油房事業の發展は如何しても內地以上に進[illegible]歩すべき餘地あり、是れ亦滿洲か將[illegible]し唯滿洲

▲水の供給[illegible]れにして此の一點は工業發達の大障[illegible]に就ては太子河等の豐富[illegible]の水を使用せざれば到底解決することを得ざる問題なり或は大連に於て



■輪業會旗と一二流選手＝三十日午後五時本社玄關前にて

◉盛んなる選手の意氣
熱心なる京城輪業會の斡旋
選手競走と奇拔な餘興

本社主催の全鮮自轉車競走に對する京龍自轉車業者の期待頗る大にして殊に京城輪業會の如き此の計畫の當初より

▲大々的に贊同し、その愈々具體的となるに及びては會場の選定、選手の狩出し、一二三流選手に與ふる優勝旗の寄附など萬般に亙りて斡旋大いに努めつヽあるが、それと同時に本社にありても數日前より係員一同何れも熱心に奔走の結果その準備も整ひたるが會場なる訓鍊院のグラウンドの手入れは多數の人夫の手によりて日々進捗しつヽあり亦見物席には

▲日除の大天幕十數張を張りて觀覽者の便を圖るべく選手競走の外種々なる餘興等ある筈にて若りに趣向を凝しつヽあり京城に於ける一流選手は嚴福童、熙谷濤、鄭九謨、黃壽、平井の諸君にして二流選手と目せらるるは西谷、那須、山下、足立、丁海宗、野間の諸君たり、右

▲一流選手中には曾て數年前本社の主催せる選手大會に或はその他の大會に於て優勝者たるの名譽を博したる人々も尠からず殊に熙谷選手の如き內地に於ける選手大會に列して選手權を得たるが如きあり嚴福童君の如きはボクトンと言へば鮮に於ける斯界の第一人者として知られ、鄭元謨君は此の二三年間にメツキリ

▲腕前を上げた る新進にして壽同君なぞと共に侮るべからざる實力を蓄へ居れり而して是等の選手は三十日午後練習のため訓鍊院に到る途次打揃つて本社に立寄り盛んなる意氣込みを示したり

♣先づ充分なる注意を拂へ
爆發性危險物の取扱に就いて
○○○○中央試驗所技師　今津明氏談○○○○

火は吾々の生活に一日も缺くことの出來ぬ大切な物で今日の文明は主にこの火を旨く利用した結果に外ならないのである例へば電氣、汽車、汽船、飛行機等が仕事をするのは皆火のお蔭である又

♣近頃の戰爭 では火は最も有効な武器であつて小銃、大砲、水雷、地雷等が敵を斃すのも矢張り火の御蔭である即ち火はこれを旨く利用すると吾々の武器である又文明の素であるが一旦其の用途を過ると實に悲慘な結果になるのである、大古には火を火山或は落雷の時に取つて置いてこれを保存して他の村或は子孫に傳へて居つたのであるが後になつて

♣木と木とを 摩擦して火を得ることを發見し今でも野蠻人は、かくして火を得て居るので火を神樣として祭つて居るものが多い我國でも出雲大社の神火は火切板と云ふ檜板に穴を明けてこれを摩擦して火を得て居つたのであるが後に燧石となり今から九十年程前に[illegible]が發明せられて今日の樣になつたのである火の歷史は大體これ位にして予に火はどんな理由で出來るのであるかを說明しよう一體物が燃えるのは酸素と云ふ瓦斯體が木炭、炭素、硫黃、燐等と化合して

♣熱と光とを 出す爲めなので物の燃えるには必ず酸素が必要でこれがなくては決して物は燃えるものではない又一方には燃ゆべき物が必要でいくら酸素があつても燃ゆるべき物がなければ駄目である、この兩方のものが同時に在つて初めて燃燒が起るので何れの一つが缺けて居つても決して火は起るものではない、酸素と云ふものは無味無色の瓦斯體で空氣五分の內に一分の割合で含まれていて吾々が呼吸して生きて居られるもこの御蔭で又物が燃えるのもこの爲めである

♣空氣中では 酸素は五倍程に薄められて居るのであるが純粹の酸素中では物は一層激しく燃えるので實に危險である例へば鐵程や木炭の樣なものでも酸素中では盛に燃えるのである、この酸素を含んで居るものは空氣斗りでなく鹽酸加里、鹽酸曹達、硝石、硝酸等の內にも多量に含まれて居るのであるから、これに燃え易い物を混じて點火すると爆發的に燃えるので火藥其他の爆發物はこの原理を利用して作つたもので酸素を澤山含んで居る物に燃え易い物を混じた物である、可燃性の物質は木材、石炭、油類硫黃等澤山あるがこれ等のものが

♣燃えるのは その內に含まれて居る硫黃及び炭素、水素と云ふものが燃えるものであるからこの三原素を澤山含んで居る物程良く燃えるのは當然である昔は火の無い所に煙はないと言つて煙は必ず火の附き物の樣に考へられて居たが今は必しもそうではない例へば濃厚な鹽酸硝酸硫酸などを空氣中に出すと煙を出すが火は無いのである叉可燃性の物質が酸素と一所に在つても常溫では燃えないのが普通でこれを燃すには或る溫度まで即ち發火點迄その物を熱せねばならぬのである普通に『マッチ』で點火するのは即ち

♣この溫度迄 熱する爲めなのである而してこの發火點の低き物程火が附き易いので危險である、例へば揮發油、エーテル、二硫化炭素、酒精、石油等は何れも發火點が低いから用心せぬと直ぐ火が附くのである、殊に揮發油、エーテル等は夏なぞになると一間位ゐ離れた所に火があつても呼火をなして發火することがある、黃燐なぞは普通の溫度でも燃燒するから之を空氣中に出せば直ぐ燃える、又物は極く微細な粉末になつて居ると燃え易いので鐵でもこれを

♣微細な粉末 にすると空氣中で燃えるので粉炭の爆發なぞはこの理で起るのである普通物の燃えるのは空氣中の酸素を取つて燃えるのであるから徐々に燃えるが、もし燃え易い物に澤山酸素を含んだものを混じて點火すると一度に燃えるから所謂爆發を起すので爆發となれば瞬間に起るのでこれを人工的に止める事は決して出來ぬものだから注意して爆發の起る樣な機會を與へぬより外に途は無いのである、これを防ぐ手段としては

♣溫度の低い 所に蓄へて置くこと火の氣を之に近けぬこと、摩擦又は打擊を與へぬこと火を呼び易い物を之に近けぬことである、この理由を能く理解して取扱へさへ居れば爆發物でも左程危險でないので大抵の出來事は取扱者の不注意から起るのである（つゞく）

◉和歌浦の夫婦心中

大阪市西區阿波座中通一丁目笠島定三郞（三〇）は內縁の妻吉村とよ（二九）と二十九日夜和歌浦に情死せり（大阪特電）

◉罰金三千圓
獨人の電信法違反

獨逸人ハルマンは電信法違反として三十日神戶裁判所に於て罰金三千圓に處する旨言渡しあり（大阪特電）

◉大金を捲上ぐ
被害者自殺を企つ

大邱生れ住所不定劉成玉（三七）京畿道富平生れ韓順基（三七）兩名は大金を所持し居るもの丶如く裝ひ五月九日始興郡北面銅雀里農吉永楠（六一）方に到り同里華藏寺僧侶柳結成（三九）を手先に使ひて順基は江原道鐵原に於ける百萬長者の主人なぞと吹聽せしめ現金六千圓を携へ居るより賭博を開帳せんと數回勸誘したる末永楠をして現金一千九百圓を調達せしめ五月十七日龍山漢江通りの飮食店與山某方に誘致して詐欺賭博をなして件の一千九百圓を捲上げて逃亡したるより永楠は歸宅後漢江に投身して自殺を企てんとしたる騷ぎに家人等は幸くも妨止したると永登浦警察署の探知する所となり爾來犯人嚴探中二十七日悉く逮捕し同時に現金七百圓餘りを發見押收の上目下嚴重取調中

◉漢江に投身

龍山二村洞と對岸鷺梁津渡船場より約五町許りなる上流に五月二十七日午後三時頃內地人男の溺死體浮流し居るを發見して屆出でたるものあり龍山分隊より憲兵出張檢視せしが死後三時間位を經過し居るもの丶如く遺留品としては破褒草履、羽織、帽子等あり身元取調べの結果京城南大門通二丁目青木好祐なること判明したるが他殺の疑ひなく全く覺悟の自殺を遂げしもの丶如く屍體は家人が引取りたり

◉鎌の上に投ぐ

平南平原郡漢川面居住崔永健（二八）は去る二十日午前十時頃同面の金天善（二七）と角力を取り初めの中は一勝一敗で互に揉み合ひ居たるが二番目には力自慢の崔が金の爲めに高々と差し上げられ腰と許りに大地に投げ飛ばされたるに折惡しく上向になりある草刈鎌の上に落ちたるより崔は腹部より背中に突き刺され悲鳴を擧げたる騷ぎに金は大に驚き附近の者を呼び應急手當を加へたるも翌日遂に死亡せりと

◉大豹を撲殺す

江原道伊川郡方丈面龜桐里農金鳳鶴（一九）は本月九日午前七時頃自宅東方三十間位の所に大豹一頭居るを發見し外四名と共に捕獲せんと企てたるに何れも咬傷されんことを恐れて逃走したるより自己單獨にて手頃の棍棒を提げて立向ひたるに豹が飛び蒐りたるより頭部を目蒐け只一擊の下に撲殺したりと

◉金融組合燒失

二十九日午前零時頃江原道麟蹄郡麟蹄面上東里麟蹄地方金融組合事務所內より出火し同事務所全燒したるが損害約五百五十圓の見込なりと

◉海老名牧師傳道日程

海老名彈正、米澤尙三兩牧師は頃日來京中央基督敎青年會、朝鮮組合敎會等に於て說敎專ら鮮人側の傳道に力められつヽあるが三十日午後四時より龍山鐵道青年會の依賴により講演を爲し六月一日より三日迄左記日程により南米倉町京城基督敎會に於て引續き說敎ある筈にて來聽を歡迎すと尙又六月二日（土曜）午後二時より五時迄は南牧師北在宿旅館京城ホテル應接間に於て一般の訪客に接し自由に懇談を交ゆる豫定なる由

說敎會

六月一日（金曜）午後八時	心靈の神秘	米澤牧師
	靈の人	海老名牧師
六月二日（土曜）午後八時	隱れたる四分の三	米澤牧師
	自由の人	海老名牧師
六月三日（日曜）午前十時	靈交の秘義	海老名牧師（禮拜說敎）
六月三日（日曜）午後八時	徹底の信	米澤牧師
	無窮の人	海老名牧師

婦人會

六月一日（金曜）午後二時	家庭の權威	米澤牧師
	信仰と家庭	海老名牧師

◉共用栓から虫

三十日午前十時仁川商業銀行前共用栓より長さ約二分位の白色の虫多數流れ出でたるより大騷ぎとなりたるが目下原因取調べ中なりと

◉城津丸船長
航海中に投身

大阪商船基隆、香港間航路船城津丸船長加藤幸三郞氏は精神に異狀を呈し航海中海中へ投身せり（大阪特電）

◉金鑛石を竊む　忠南洪城

郡洪北面乃法里金七坤（三三）は昨年四六月中瑞邑內居住金鑛業者崔吉次郞の經營中なる洪城金鑛に坑夫として雇はれ中坑道にて採掘したる金鑛約五升を竊取し精鍊したる結果金粉末六十一匁を得たるが之れを靑陽邑內居住の支那人王樹塔に百六十八圓餘に賣却して其の代金を消費したること發覺して七坤は此程瑞山警察署に檢擧されたり

◉師範生敦圄く

佐賀縣立師範學校紛糾問題に就き主謀者を放校處分せし爲め生徒は團結して强硬に復校を迫り居れり（大阪特電）

◉布敎規則違反

大阪市東區小橋寺町當時仁川仲町一丁目西海良湧（三九）は大正四年八月二十四日宮崎高野山遍照寺の事務主任として就職中信者との折合惡しき爲め昨年六月頃辭職爾來前記の處に居住し居りしが居宅に紀州那賀郡納月村某寺より宗祖像一臺を迎へ無許可にて寺院同樣の設備をなし九十餘名の信徒をして參詣せしめ居たる事發覺布敎規則違反として告發せられ三十日仁川警察署に於て罰金六十圓に處せられたるが不服にて正式裁判を仰ぐ

◉生活難から自殺

京城崇泥洞八三洪性觀（三十）は二十日午後一時頃自宅溫突內にて苛性曹達を飮用して自殺を企て苦悶中を實父洪官濟が發見し急報に接し鍾路署より係員警察醫出張極視し應急手當を加へしも遂に絕命せり同人は家族六名あり月收僅かに二十圓許りあるも近來物價騰貴し漸次生活難を訴へ其の結果神經衰弱となりて此の始末に及びたるものならんと

◉のモスリンデー

戰亂の爲め昇騰に昇騰を重ねたるモスリン友染當用顧客の爲に大々的犧牲

大巾一尺　三十錢均一

六月一日二日三日　京城本町　丸一吳服店

◉怪しい豪遊客

京城齋洞自轉車修繕業趙希成（二七）は茶屋町妓生宿屋金蘭英方に出入中五月二日家人の隙に乘じ金簪一本（七十五圓）を竊取し之れを鍾路二丁目古物商權性に四十九圓に賣却し妓生二名を自動車に同乘せしめて淸凉里に遊びたる上尙各町の妓生置屋にて遊蕩中を本町署に捕はる

◉小火

二十九日午後六時十五分頃京城東大門外昌信洞五二六李成己方より發火したるも藁屋根少許を燒き家人が卽時消止む

◉米澤署燒失と照會

五月二十二日米澤市大火の際米澤警察署は全燒したるより同署に對して火災前に朝鮮各官憲及び鮮內居住の人民より照會したる事項に就いては此際新に再照會する樣山形縣警察部より警務總監部宛に依賴し來れりと

灸專門　胃病、腦病、子宮、かつけ、神經痛　許發　六月二日三日兩日（午前五時迄）無料　普通一回金三十錢　京城本町三丁目龜屋橫入る　電話一三三六　狩野治療院

繭、生糸　出殼、屑物　見本御送付次第値入申上候　多數有之節は店員出張仕候　龍山漢江通り　繭糸商行　電話（長）一五七番　電略（〇コシ）或（〇）

京日案內　普通一回前金（五十錢）番外一回前金（[illegible]）

◎指物職工募集　龍山漢江通り一三番地　松村工作所　電話七一三番　76

◎見習看護婦入用　希望者は來談ありたし　京城旭町一丁目　島崎病院　77

◎電話至急讓受けたし　姓名在社　79

◎內地人朝鮮人女工數十名募集　製絲に經驗あるもの　京城並木町一四一番地　朝鮮製絲所　21

◎金融　官吏會社員へ極秘信用貸　本町五丁目電車終點北　大和屋質店　30

◎融通　手形の御方へ極秘迅速簡易　大和町三の三式（柄澤前）京城　起木屋　43

移轉先　黃金町三丁目二七六　質　杉本喜太郞　電話四三六番　73

◎礦物定量分析　太平町二丁目二五　電話長一三四四　朝鮮公論社左橫小路　坂元分析所　45

鑛山鋼製作品　京城本町一丁目　電一六三　振替一二〇　佐野彥商店　48

恩給年金即時立替　西期無保險取扱確實也　京城南大門外御成町　山口屋　鮮支店　京義線沙里院　廣川商店　60

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　朝鮮銀行
電話　振替貯金口座京城三三三番　一〇六、一一一〇、一一二〇、六一二、一二六一
支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾濱、營口、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

婦人公論　六月號
貸家を探す人に…伊東工學博士
家庭科學　電燈の話…近藤教授
日本の女は幽靈である（日本の婦人に是非讀で頂き度いこて米國からの此大論文）…茅原華山
臨時議會と婦人…石川半山
趣味の技術　美術的插話數葉…中村八郞　諸名家
今後の婦人に最も大切な問題！若い女の見答す可らざる問題！
青年男女交際論　執筆者（與謝野晶子、安部磯雄、內ヶ崎作三郞、馬場孤蝶、平塚明子）
（小說）秘めたる戀…德田秋聲
蹂躪られて…正宗白鳥
春宵記…小山內薰
ユーモアを解せ…新渡戶博士
子寶述懷記…わらび半
赤い花　お加新…鈴木三重吉
情話　黃八丈の小袖（鈴ヶ森で火あぶりになつたお駒才三で有名な白子屋の悲慘極まる哀史）…岡本綺堂
今流行の「はしか」の話…宇都野醫學士
痩せる法…宮原病院長
定價三十錢　郵稅一錢半　東京本鄉區西片町十番　中央公論社

時計卸商　登錄商標　TRADE MARK K　京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電話一〇一五・振替京城一七八二

移轉御披露
今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉仕候間多少に不拘御注文の程希上候
營業科目　諸機械製造　醫療器製作　車製作及据付　暖房裝置工事　衛生工事　建築金物一式　炊事蒸汽裝置　織機製作　設計及工事請負　鑛山用水
京城黃金町二丁目（東洋拓殖會社前）電話一九一三番
小河原鐵工所　小河原吉平

好機逸する勿れ愈々本日限り
京城日報讀者には特に破天荒の割引あり
東洋を代表して萬國フィルム會社へ出品月桂冠を得たる
神秘劇　大尉の娘
お名殘餘興　ルボーフ孃
連續大寫眞　紫の覆面
舊劇　安達ヶ原　三段目
御信用下さい、早川演藝部直營の有樂館は、皆樣を瞞着したり欺いたりする樣な大それた度胸は持ちません
電話（階上）四九七番（階下）二〇五番　有樂館

花筐 (二)

松田竹の島人作

お琴は沈んだ調子で、

『然う思つたもんですから、鎌倉に來ると、或る旦那の世話に爲つたんですよ。ところがねえ、其旦那が餘り金使ひが暴かつた故か、都合が惡くなつて、此土地にも居られなく爲つたんですよ。早見さんといひ、其旦那といひ、妾の世話に爲る人は末が眈と不可ないから、最う世の中が厭やに爲つて了つたんですよ。』

『藝者を爲てゐて、深く爲つた客が二人や三人失敗るのは何んでもないことぢやないか。もつと氣を大きく持つて、大いに發展するやうにせんけりや不可んよ。』と田淵は慰撫めるやうな、氣を引立てるやうなことを言ふ。

『だつて妾にや、什麽も然ういふ氣に爲れないんですよ。第一御客に實といふものがありませんでねえ。』

『こりや恐れ入つた。』

『御客には實がないし、年寄つた老父にや苦勞をさせにやならないし、それやこれやを考慮へて、頭腦が重く爲つて、遂ぶら〳〵病に罹つて了つたのですよ。』

『何んて活地のないことだらう、赤阪で春子と言つては、隨分盛んに賣つたお前ぢやないか。それぢや何んだね。一方にや實のある客があつて一方に老父さんを樂にさへして行けりや可いんだろ。』

『然うですとも。』

『問題は簡單明瞭だ。』と田淵は言つて猪口を取り揚げて、ぐいと口飲む。

『けれど、常節操實のある御客なんてものは、金の草鞋で捜して歩行いたつて、ありツこはありませんわ。ですから、妾の身を世話してくれる人なんか、什麽でも可いとして、老父さへ樂にさせれば可いんですわ。』

『浮いた稼業を爲たに似ず、お前は感心だなあ。』と田淵は心の眞底から感心したやうに言ふ。

お琴は弱氣で、人一倍親思ひであつたから、父に奉公させて、常に氣苦勞させることが、堪らない程口惜しく思つた。父を樂にさせる爲めには、金のある客には身を任せるけれども然うと信じてゐた早見は、妾を晦ましたし、其次の國塚は失敗したし、身を任せて、父を樂にして貰ふ程の客はないと悲觀したのであつた。

田淵は猪口の酒を飲み乾して、お琴に酌をさせながら、

『お前の心が能く解つたから言ふが、れつきとした人で、お前を世話しやうと言ふし、從つて老父さんの體も樂に爲ることが能きるのだが、什麽だね？』

『其麽牡丹餅で、頬ツぺたを叩くやうな旨い噺があるもんですか。』とお琴は、てんから信じなかつた。

『ところがあるからね。』と田淵は大眞面目である。

『旨く妾を欺しといて、後で笑はうなんて、田淵さんは眞個にお人が惡るいわ。』

『疑るにも程があるよ、それでなけりや、何んでお前と一緒に、此處へ來るもんか、其事を噺して、お前の心を確めたいから、態うして來た譯ぢやないか。』

『眞個ですか？』とお琴は言葉に力を籠めて、膝の上で、吾れと吾が手を確り握つた。

『人が親切に言つてるのに、眞個ですかもないもんだ。僕の大眞面目がお前には然う見えないのかね？』

『疑ぐる譯ぢやありませんが、餘り結構な噺ですから、遂そのねえ……』

●支那の惜字亭

さすが文字の國

支那では路傍若くは廟宇の境内に惜字亭と云ふものが建てられてある之には石のもあれば眞鍮銅などで作つたのもある▲支那人は字を書いた紙が路傍に落ちて居ると之れを拾ひ集めて此惜字亭の中に溜て置き之を燒き清めるといふ習慣がある、以て如何に文字を尊重するかと云ふ事が判かる、併し近來は新聞紙其他の印刷物の反古が棄てられるので舊來の如く几帳面には行はれない▲卷煙草の吸殼は普通路傍に棄てられるものだが、此吸口に字が書いてあると棄てるのに勿體ないから從つて煙草の買手も無くなる、この風習を知らないで吸口に文字を記入して卷煙草を支那に輸入して失敗した日本商人もある▲處が英語や獨逸語になると幾ら之れが記入されてあつても之を文字と見ないから一向平氣である支那で文字と云へば漢字の事とばかり想つて居るから可笑しい▲また包紙にも文字のある紙は用ひず、寶品などでも名前や點數を書く必要がある時には別の小紙に印刷して之を包紙に貼付ける▲厠の落とし紙には絶對に字の書いてある紙を使はない、若し字の書た紙が用ひられて居ると、汚穢屋が之を汲取ることを肯じないさうだ

金牌受領 滋養飲料 商標 玄米精乳 京城北米倉町 (電話[illegible])
○粗惡なる模造品あり御用心○

□府尹官邸牡丹　浮碧樓

牡丹を咲かせ人を愛しけり
われ牡丹を觀る牡丹われに對す
牡丹の花重たく盃めぐり
牡丹の花粉飛ぶ主人の居間の方へ
牡丹白くあるじ快辯也
一ト木の牡丹も散らぬ砂深かに
牡丹まひるわが頬の汗ほめき
牡丹見果つるわが額の松風
牡丹を見る佩劍の柄つめたく
夜は天上の星こぼるゝ牡丹なる

□奉恩寺吟行(其二)　京城俳句會

漢江渡舟場

夏の日ヶ舟につなぎて牛洗ふ　竹水
長き木を馬車に積み居る夏岸邊　同
薬柳の丘まで延びて山の脈　田打夫
萍や魚を買へと強ゆる舸子　耕伯
夏空の下舟や飯を喫ふ　橙黄子

舟を捨てゝ

萍や舟著けば波をかぶる杭　迦南

奉恩寺に到る

寺涼し郵便函の掛けてある　北星
魚板打つや寺廊圓坐に主なし　青丘
大楯に米を蓄へて寺茂る　耕伯
夏草を暇あれば刈る山の僧　浩一郎

板殿を見る

阪木藏して御堂の冷えや若葉風　竹水
阪木の刷手に染みて出ぬ四花咲く　橙黄子
菩提樹下涼しき僧のおはしけり　浩一郎

寺を辭す

銅鑼撞いて人去る櫻の五月かな　田打夫
客待つ間を草に蹲凝や舟漢　青丘

歸途舟中課題萍五句の互選を爲す

萍の片寄る風や寺節か　北星
萍や釣臺に今日人あらぬ　同
萍の月やこまぐ〳〵と物の影　橙黄子
萍や魚とも見ゆる虫泳ぐ　同
萍や岸に刻める水の蝕　耕伯
萍やや水飲み去れる森の鳥　田打夫
浮草の色めき昏るゝ舟場かな　黒平
萍や泥乾きてゐる筏尻　迦南
萍や岸に水溜め蟲二つ　浩一郎
浮草の隙を小虫の波紋かな　青丘
浮草を見てあれば蜩止まりけり　竹水

文藝句を錯して

梯子かけて樹に半鐘や雲り峰　迦南

狂犬病に關する山縣先生の御高説至極同感に御座候小生の考案にては畜犬稅を一頭金十圓とし大に畜犬の數を減少するを以て第一策と存候大稅の少額なる爲め一家三頭乃至五頭を飼養し盛に人を咬せ候もの有之候(大和町老人亭附近)▲此の際大に犬稅増加を唱ふるの必要を感じ候▲午後五時獨立門外居牛場の附近に狂犬一頭徘徊、本日午後四時頃明治町二丁目より本町二丁目へ拔ける小路(江戸川の裏手)に何等の記標なき黑色大小の二犬の徘徊するを目撃致候(南山町生)▲西小門外煙草會社の下手東大門内市場の下手や奬忠壇の下手等の惡水路にて野菜物を洗ふ鮮人あり危險千萬(南山町生)▲市中の古物商店を見ると店先に不潔なるものや見ぐるしいものを澤山ぶら下げて居るがもう少し何とか整理をしては何うであろう如何に古物店でもやり方によつてはよう見ゆる而も其れが堂々たる商店と軒を並べて居るから尙ほ更ら市街美を害する(カグ德利)▲もツロ〳〵蠅が飛び出したのに拘らず飲食物を賣る店にはまだ蠅除けをしたのが見當らぬ之れ等は各自でやらなければ駄目だよ(馴菓子屋)▲時間勵行會發起人に申す小生等友人五人と共に贊成致候(本町一丁目の住人)▲貫紙に四月八日の甘茶のをが出てゐましたがあの灌佛會は年々歳々盛んになつて參ります、兎角自國のものを輕く見る日本人はむかしから傳はつたあんな美しい催しを今までぞんざいにしてゐたのが殘念なとです(げんげの花)

ミツワ石鹸

MITSUWA SOAP.

The pure soap, from chemical point of view, should dissolve transparently in Alcohol with no sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfills that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, and wears to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, or nursery.

純正の石鹸は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に此の沈渣をも殘留せず、更に「フェノールフタレイン」を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹸なりとす、本邦人の皮脂の分泌量多くして而かも粗惱なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、實に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず

ミツワ石鹸は化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。
二、溫雅の芳香を有す。
三、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし

卽ち、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。

種類	
大形家庭用	定價金貳拾錢
中形家庭用	定價金[illegible]錢
小形旅行用	定價金[illegible]錢
極小形旅館用	定價金五錢

現品實寫圖

肝油ドロップス　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目 振替東京七一〇番 丸見屋商店 電話浪花特長 四四八番 四四九番 四五〇番 [illegible]

衣更のお化粧！

今までのけばけばしいお化粧は時代遲れ、これからのお化粧は

うつすらと塗けて目立たず

他に類のない上品な白さを現す

不思議に衣服の襟を汚さぬ

新發明 新發賣 ホーカー白粉 のお化粧が一番似合ひます！

効果

●衣服の襟を決して汚さぬ
●白粉らしい白さにて美しい
●[illegible]
●肌の肌理整へ[illegible]
●ツヤが強く化粧崩れせぬ
●洗つた後まで白く見える
●肌アレ日ヤケを防ぐ
●用ひ度に綺麗さを增す

ホーカー白粉　ホーカー白粉液　ホーカー[illegible]　ホーカースヰート

本舖 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 電話神田(特長) 四四三、一四五四、一五六 振替口座東京 [illegible]

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽(天津)牛莊行
仁川丸 六月廿四日正午出帆
新潟丸 六月三日正午出帆
三河丸 六月十三日正午出帆
仁川港濱町一丁目 [illegible] 回漕店

金泉醴泉間自動車時間 [illegible]

金泉織居自動車支部

大邱浦項間自動車時間 [illegible]

大塚農場自動車所 大邱出張部

尼崎汽船出帆
仁川、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
[illegible]
仁川海岸通 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○○門司、神戶、大阪行 六月二十日午後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 六月九日午後五時出帆
○○門司、宇品、神戶、大阪行 月 日午後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 每月二日九日十四日廿一日廿六日(午後十時出帆)
○天與丸
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部